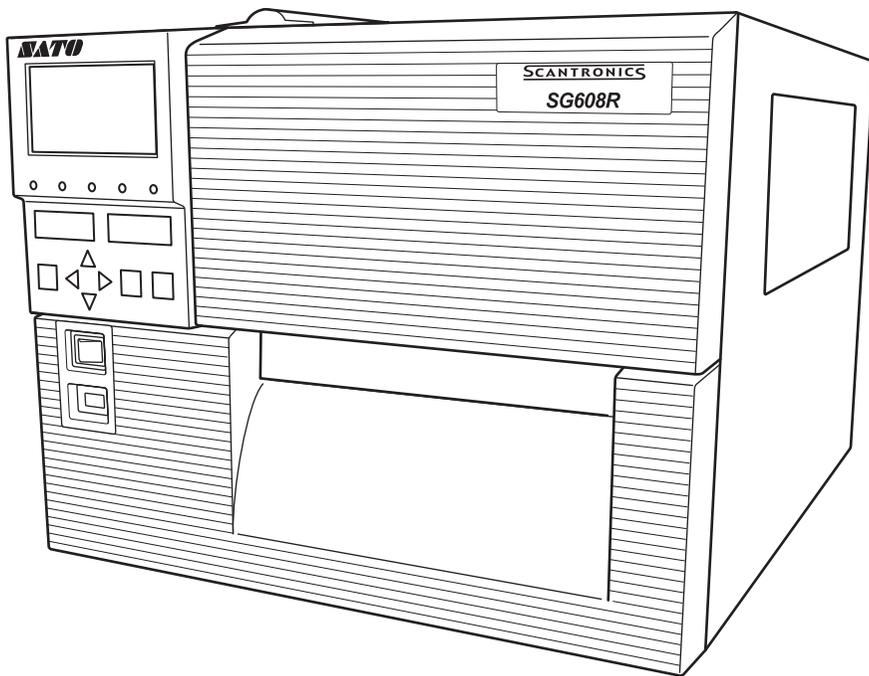


スキャントロニクス® **SG600R** シリーズ

取扱説明書



サトー製プリンタには、サトーのサプライ製品 **純正**®のご使用をお願いします。

株式会社 **サトー**

はじめに

このたびは、当社スキャントロニクス SG600R シリーズ（以降、「本プリンタ」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本書は、はじめて本プリンタをお使いになる方に、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、本プリンタの機能を理解し、正しくお使いください。

電波に関する注意事項

本プリンタは、電波法に基づく技術基準の適合承認を受けています。従って本プリンタを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本プリンタは日本国内でのみ使用できます。

以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- ・本プリンタを分解 / 改造すること
- ・本プリンタに貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

- ・電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺。

本プリンタの使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本プリンタを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本プリンタから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処理など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、本プリンタから移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生したなど何かお困りのことが起きたときは、最寄りの販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。



“Bluetooth” は、米国 Bluetooth SIG の商標です。
弊社は同団体とのライセンス契約に基づき使用しています。

2.4 FH 1

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FH - SS 方式
想定干渉距離	10m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

ご 注 意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店、ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- (5) 本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

目的別検索ガイド

取扱説明書

セットアップガイド

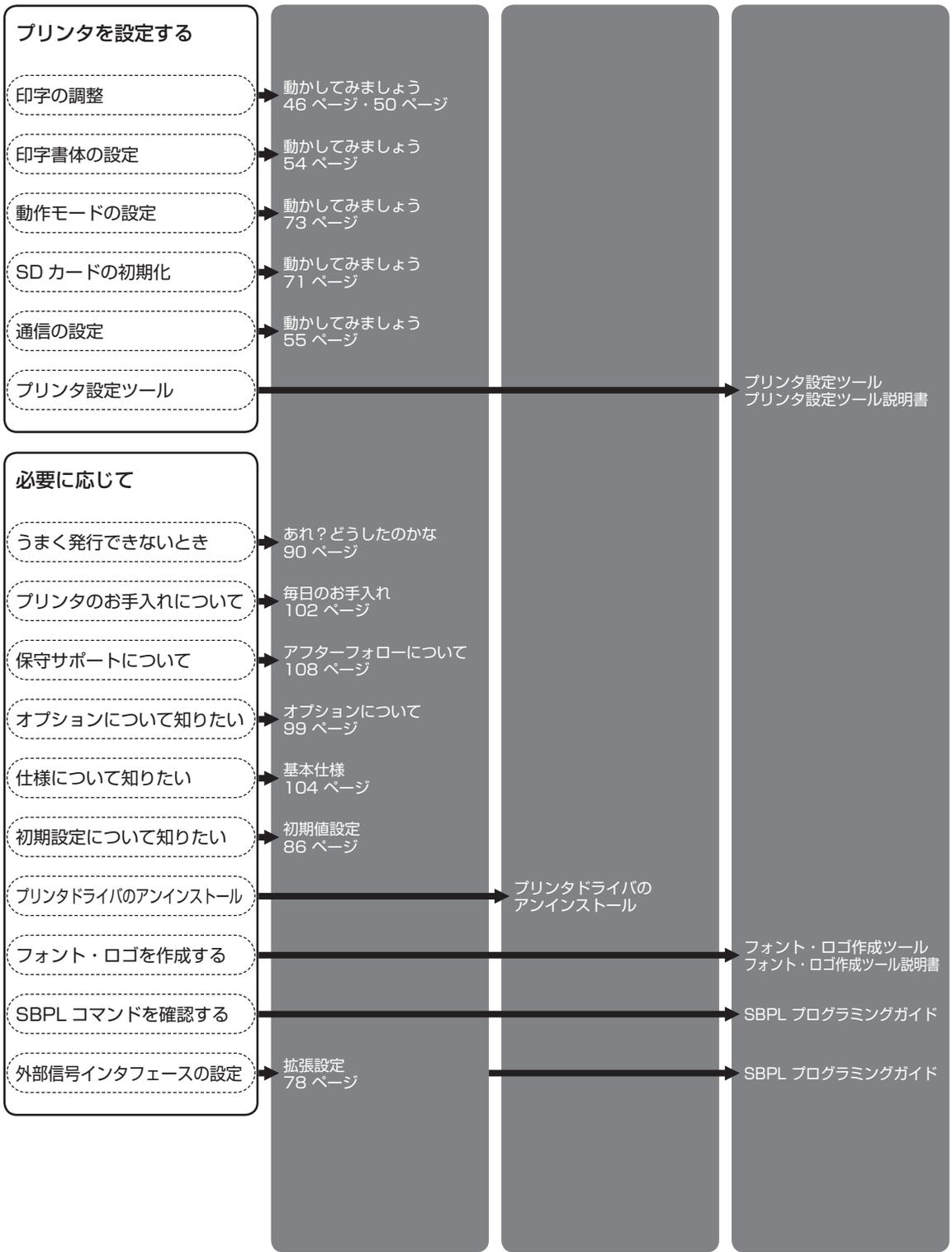
アクセサリ CD-ROM

	取扱説明書	セットアップガイド	アクセサリ CD-ROM
セットアップする			
プリンタを安全に使うために	安全にお使いいただくために 5 ページ		
プリンタの設置	設置上のご注意 8 ページ		
各部の名称の確認	各部の名称 11 ページ		
カーボンリボンのセット	カーボンリボンのセット 18 ページ		
用紙のセット	用紙のセット 22 ページ		
プリンタの通信設定をする			
USB インタフェースの設定	各インタフェースの設定画面について 58 ページ		
RS-232C インタフェースの設定	各インタフェースの設定画面について 59 ページ		
IEEE1284 インタフェースの設定	各インタフェースの設定画面について 62 ページ		
LAN インタフェースの設定	各インタフェースの設定画面について 64 ページ		
ネットワークユーティリティ			プリンタ設定ツール プリンタ設定ツール説明書
Bluetooth の設定	各インタフェースの設定画面について 68 ページ		
通信ケーブルを接続する			
	インタフェースの接続 37 ページ		
プリンタドライバをインストールする			
USB インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB)	プリンタドライバ説明書
RS-232C インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB 以外)	プリンタドライバ説明書
IEEE1284 インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB 以外)	プリンタドライバ説明書
LAN インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB 以外)	プリンタドライバ説明書
バージョン一覧を確認する			プリンタドライババージョン一覧表

取扱説明書

セットアップガイド

アクセサリ CD-ROM



目次

目的別検索ガイド	2
1 安全にお使いいただくために	5
2 設置上のご注意	8
1. 設置上のご注意	8
2. 設置スペースについて	9
3 同梱品の確認	10
4 各部の名称	11
5 電源を入れてみましょう	15
6 カーボンリボンのセット	18
7 用紙のセット	22
1. 標準仕様	23
2. ハクリ仕様 (オプション)	31
3. カッタ仕様 (オプション)	34
8 インタフェースの接続	37
9 動かしてみよう	39
1. 動かしてみる前に	39
2. オンライン操作	44
3. オフライン操作	44
4. 発行中の印字データキャンセル操作	45
5. 調整モード操作	46
6. ブザー音量調整操作	47
7. エラーモード操作	47
8. 設定モードメニュー操作	48
・ プリンタ設定	49
・ 通信設定操作	55
・ 各インタフェースの設定画面について	58
9. メモリカードモード	71
10. 拡張設定	73
11. HEX ダンプ印字操作	82
12. テスト印字モード操作	83
13. 連続印字とティアオフ	85
10 初期値設定	86
11 あれ? どうしたのかな	90
12 オプションについて	99
13 毎日のお手入れ	102
14 基本仕様	104
15 アフターフォローについて	108

1 安全にお使いいただくために

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

- プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示には次のような意味があります。



注意

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。



感電注意



高温注意



ケガに注意



手を挟まないよう注意



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



分解禁止



火気厳禁



濡れ手禁止



接触禁止



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



電源プラグを抜く



アースを接続する

警告

 <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>■指定以外の電圧は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された電源電圧 (AC100V) 以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。 	 <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>■オプションケーブルやスキャナの接続について</p> <ul style="list-style-type: none"> オプションのケーブルやスキャナをプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源を切ってからおこなってください。電源を ON にしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電するおそれがあります。
	<p>■内部に異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタの開口部 (ケーブルの出口や SD カートリッジ取付口など) から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 	 <p style="text-align: center;">分解禁止</p>	<p>■分解しないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。
	<p>■電源コードの取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線など) 販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 本プリンタに付属の電源コード、2 極アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。 	 <p style="text-align: center;">濡れ手禁止</p>	<p>■濡れた手で操作しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
		 <p style="text-align: center;">接触禁止</p>	<p>■カッタに手やものを入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ケガをするおそれがあります。
	<p>■落としたり、破損したときは</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 	 <p style="text-align: center;">アースを接続する</p>	<p>■必ずアース線を接続してください</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。
	<p>■異常な状態で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 万一、プリンタから煙がでて、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。 	 <p style="text-align: center;">火気厳禁</p>	<p>■プリンタ清掃液の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。

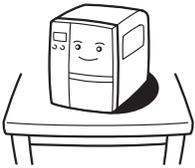
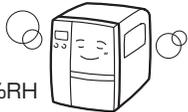
⚠ 注意

 <p>注意</p>	<p>■持ち運び</p> <ul style="list-style-type: none">用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタに指や手を挟まないように注意してください。 <p>■電源コード</p> <ul style="list-style-type: none">電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線が露出や断線し、火災・感電の原因になります。電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。 <p>■サーマルヘッドの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意してください。お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。 <p>■ファンフォールド紙のセット</p> <ul style="list-style-type: none">バックカバーを取り外すときや取り付けるときは、ケガをしないように注意してください。 <p>■SDカードの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">SDカードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。直射日光の当たるところや暖房器具の近くに置かないでください。コネクタ部を直接接触したり、ゴミやホコリが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。高温多湿のところに保管しないでください。静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。	 <p>注意</p> <p>■プリンタ清掃液の保存</p> <ul style="list-style-type: none">お子様が間違えて飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。 <p>■持ち運び時のコードの扱い</p> <ul style="list-style-type: none">移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。また、外部との接続線を外したことを確認してください。外さないまま移動すると、電源コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
	 <p>高温注意</p> <p>■サーマルヘッド（高温注意）</p> <ul style="list-style-type: none">印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃するときは、火傷をしないように注意してください。	
	 <p>手を挟まないよう注意</p> <p>■カバー</p> <ul style="list-style-type: none">カバーの開閉には、指を挟まないように注意してください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持ってください。 <p>■用紙のセット</p> <ul style="list-style-type: none">ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意してください。	
	 <p>電源プラグを抜く</p> <p>■長期間ご使用にならないとき</p> <ul style="list-style-type: none">プリンタをご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。 <p>■お手入れ・清掃のとき</p> <ul style="list-style-type: none">プリンタのお手入れや清掃をするときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。	

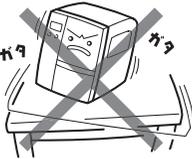
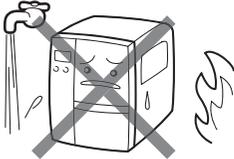
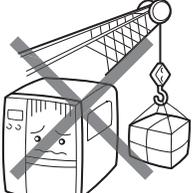
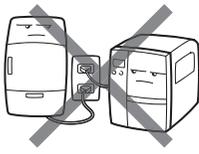
2 設置上のご注意

1. 設置上のご注意

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

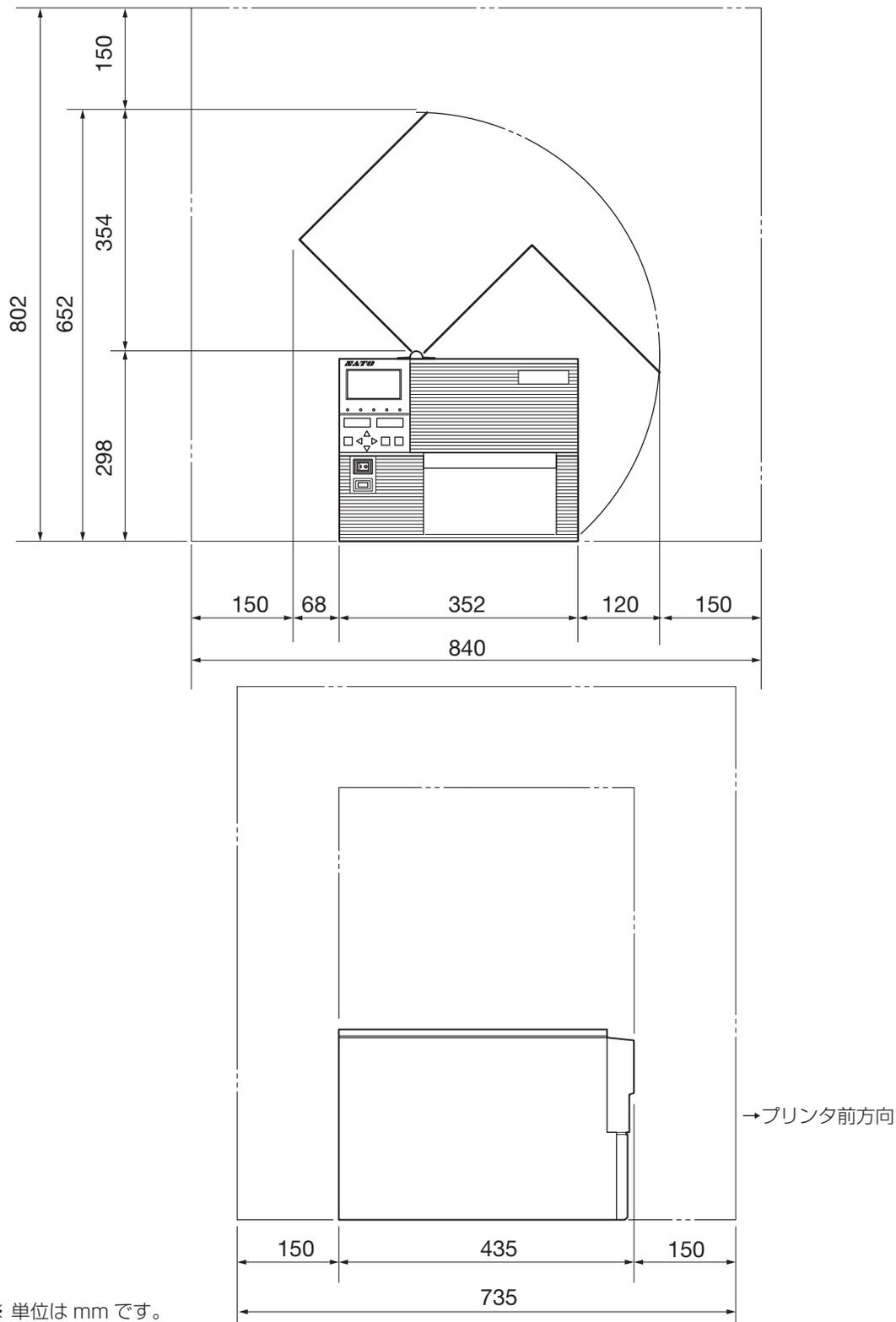
<p>水平で安定した場所</p>	<p>以下の温度と湿度の場所</p>
	<p>温度: 5~40℃</p> <p>湿度: 30~80%RH</p> 

本プリンタは、次のような場所に設置しないでください。

<p>振動のある場所</p>	<p>高温・多湿の場所</p>	<p>ホコリの多い場所</p>	<p>直射日光の当たる場所</p>
			
<p>ノイズの多い場所</p>	<p>電源変動の大きい場所</p>		
			

2. 設置スペースについて

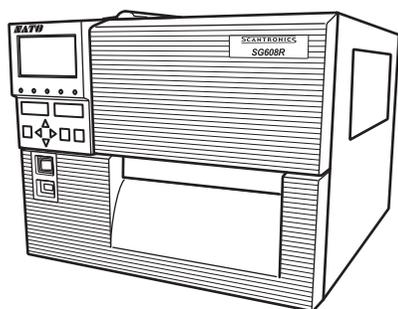
標準仕様



3 同梱品の確認

箱を開けたら、次の同梱品が揃っているか確認してください。

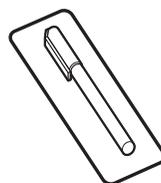
もし、足りないものがありましたら、購入された販売店またはディーラーまでお問い合わせください。



プリンタ



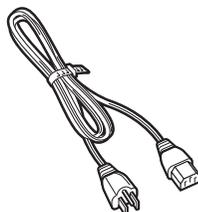
保証書



クリーニングペン



メンテナンス案内書



電源コード



2極アダプタ

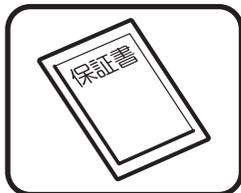


取扱説明書(本書)と
セットアップガイド

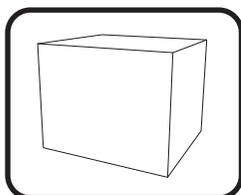


アクセサリCD-ROM

▲保証書と箱は大切に



本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、付属の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。

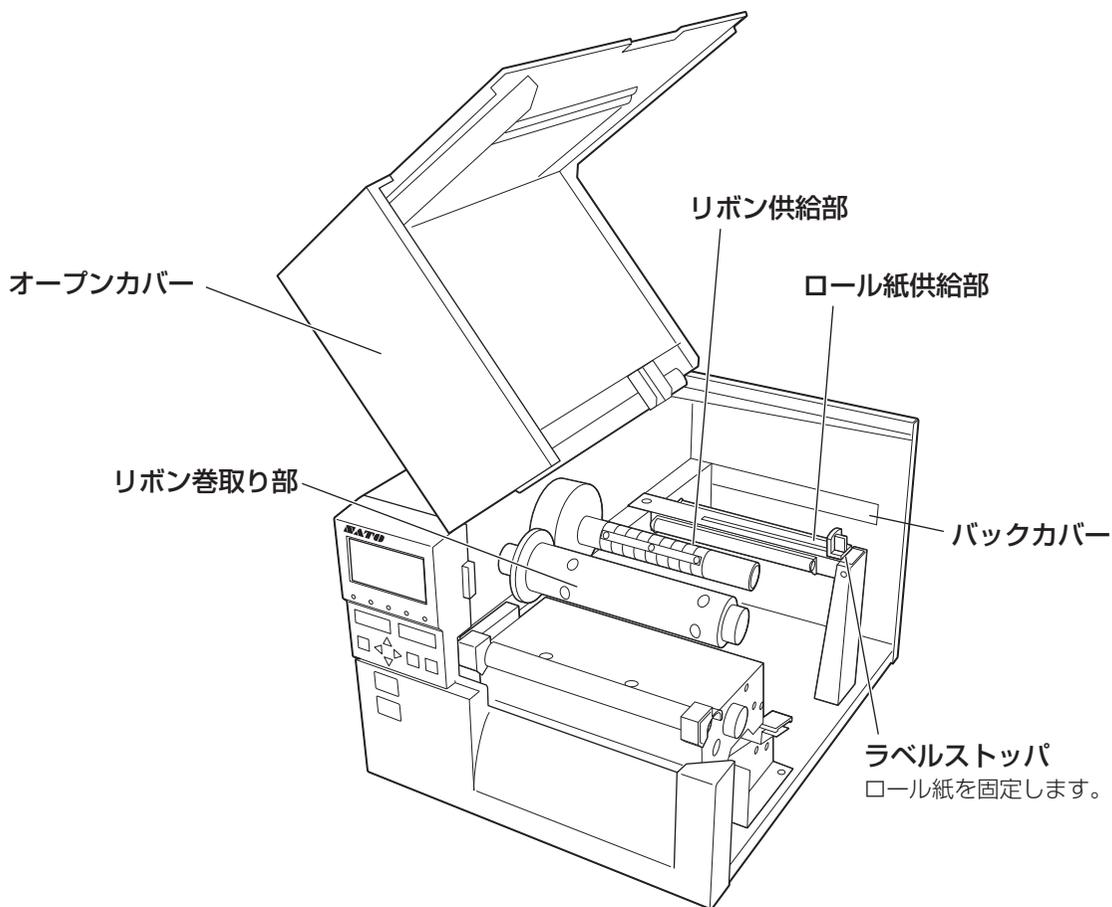
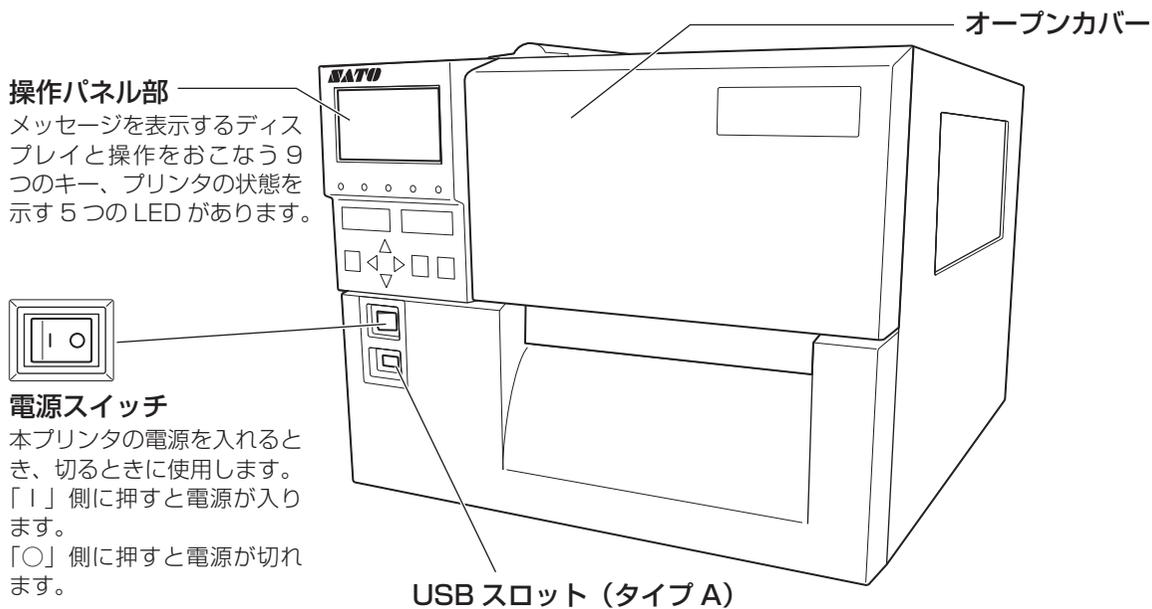


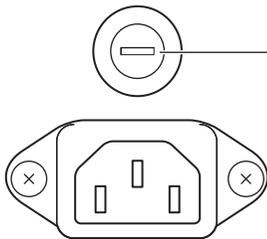
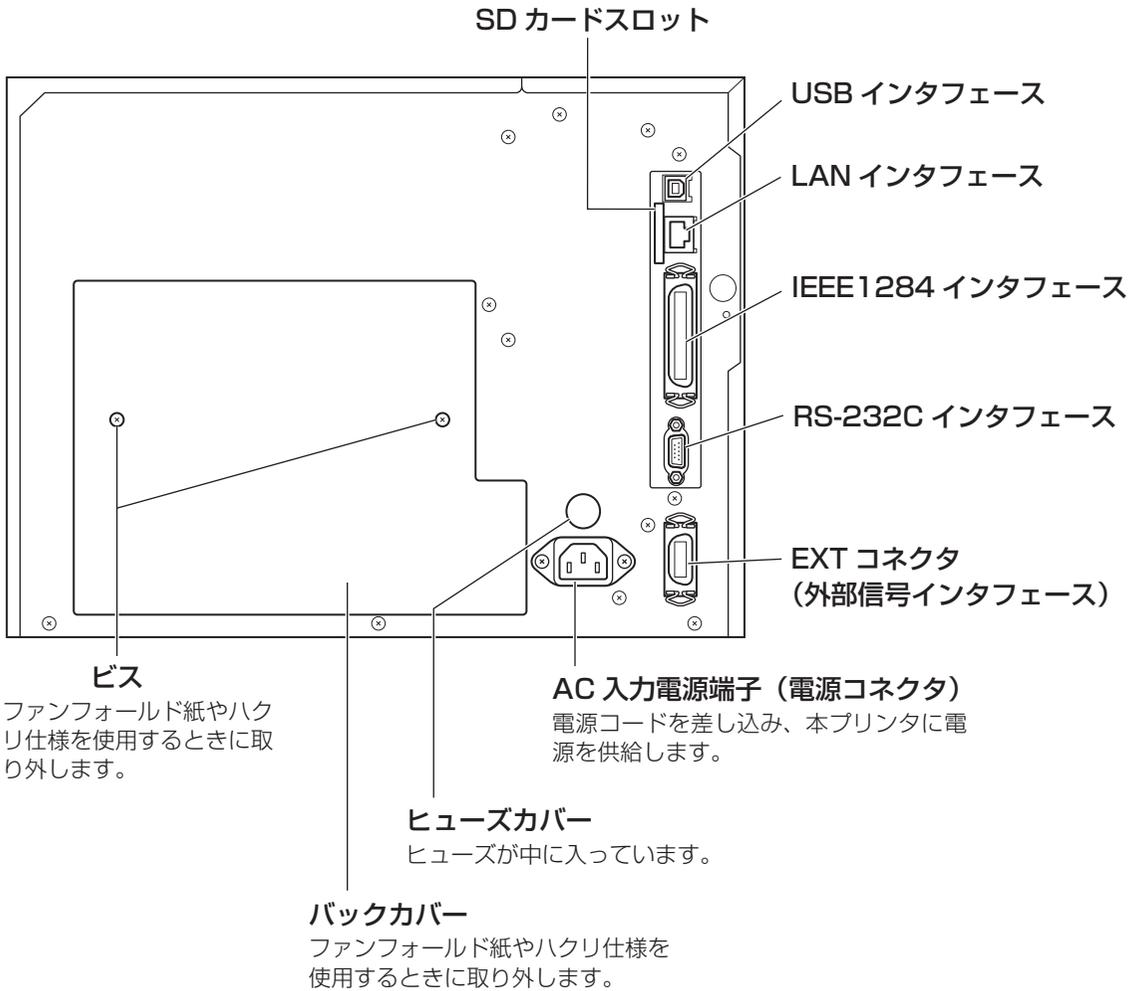
また、本プリンタを梱包していた箱とプリンタ押え（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただけます。

本プリンタは、オンサイト保守にも対応しております。

4 各部の名称

▲プリンタ本体



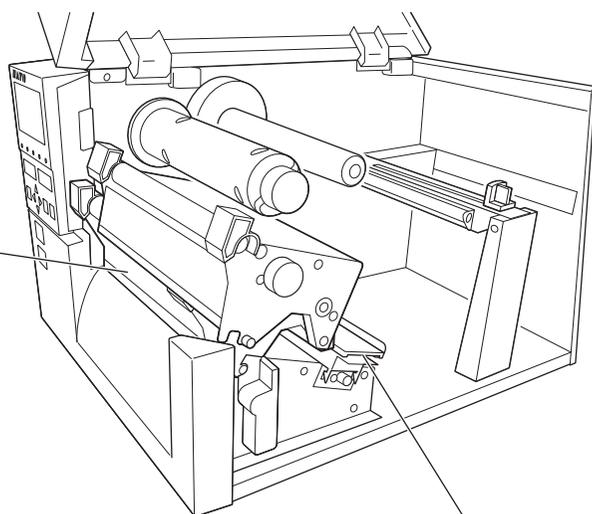


ヒューズ

本プリンタに、一定以上の電流が流れるとヒューズが切れて本プリンタを故障から守ります。

プラテンローラー (消耗品)

印字した用紙を送ります。
定期的にお手入れしてください
(102 ページ)。



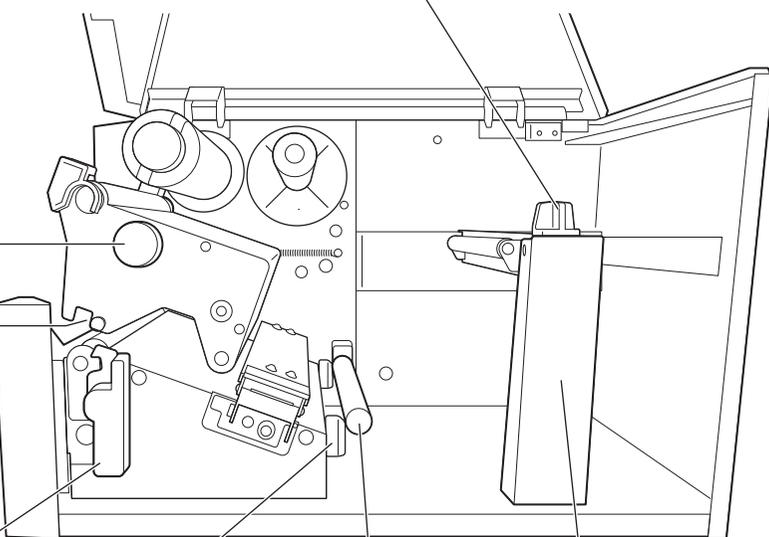
ペーパーリッド

ラベルストッパ

ヘッド圧調整ノブ

サーマルヘッド (消耗品)

用紙に印字する部分です。
定期的にお手入れしてくだ
さい (102 ページ)。



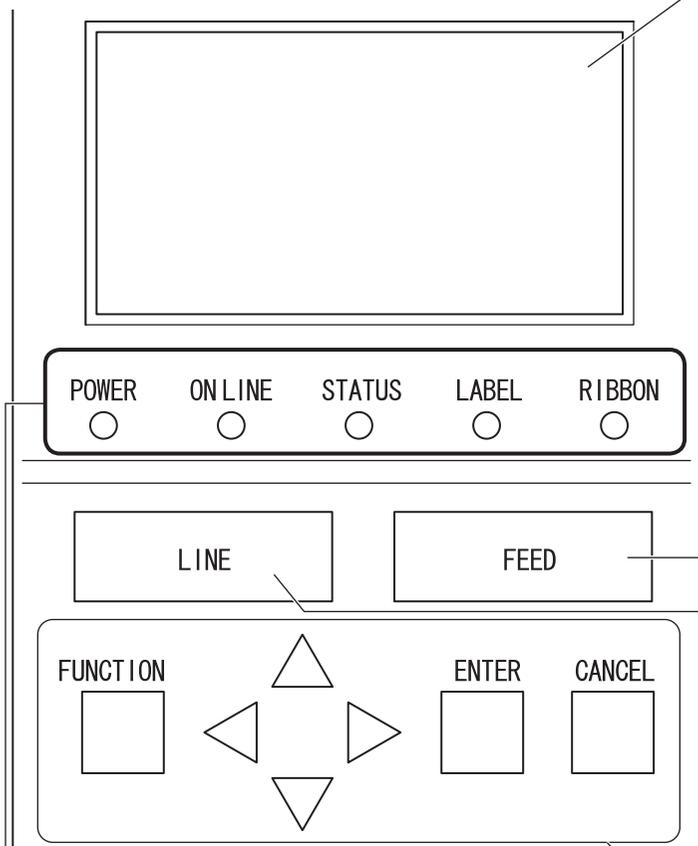
ヘッドオープンレバー

スライドガイド

ガイドシャフト

アンワインダー

▲操作パネル



ディスプレイ

アイコン、操作メッセージやエラーメッセージを表示します。

FEED キー

用紙の紙送りをします。
オフライン時に1回押すと1枚分のラベルを送り出します。

※ 電源をON、用紙をセットしたときなど用紙が正規位置にない場合があります。このような場合には、**LINE**キーを押してオフライン状態にし、**FEED**キーを押して用紙を正規位置に合わせてください。

LINE キー

印字のスタート、ストップおよびデータ送受信のオン、オフを切替えます。

LED

プリンタの状態を表します。

- POWER
電源が入っているとき、点灯します。
- ON LINE
通信可能なとき、点灯します。
通信エラーのとき、点滅します。
- STATUS
エラーが発生したとき、点灯、点滅します。
- LABEL
用紙がなくなったとき、点滅します。
- RIBBON
カーボンリボンが残り少なくなったとき、点滅します。

操作キー

プリンタを動かすために必要な設定をします。

- **FUNCTION**
各設定モードで、モード選択画面に戻ります。
- ▲・▼・◀・▶
各設定モードで、数値を入力、カーソルを移動します。
- **ENTER**
各設定モードで、設定した内容を決定します。
- **CANCEL**
印字データをキャンセルします。
各設定モードで、前の設定項目に戻ります。

5 電源を入れてみましょう

電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

電源コードを接続する

⚠ 警告

- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

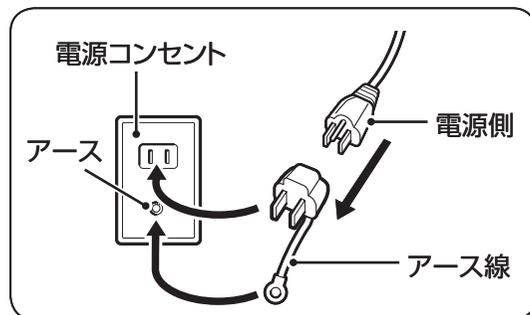
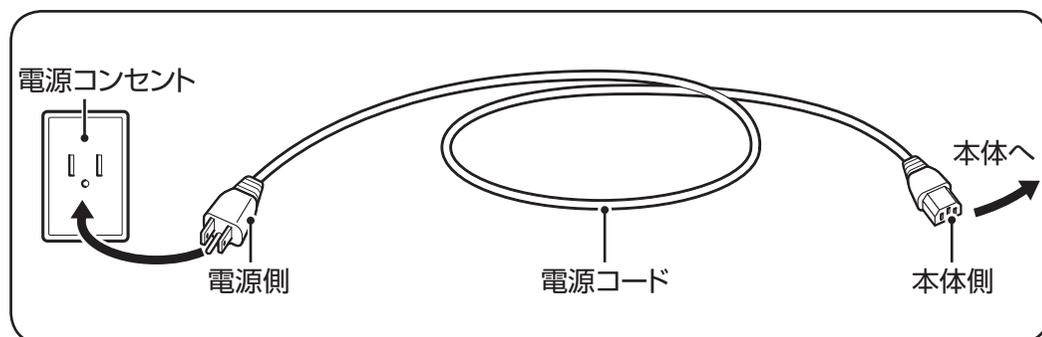
⚠ 注意

- 本プリンタに付属の電源コード、2極アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

▲電源コンセントに電源コードを差し込みます

付属の電源コードのプラグ形は、3極タイプになっています。3本の足のうち1本がアース線になっています。

ご使用の電源コンセントが3極タイプの場合は、そのまま電源コードを差し込んでください。



電源コンセントが2極タイプの場合は、付属の2極アダプタを使い、電源コンセントに差し込んでください。必ずアース線を接続してください。

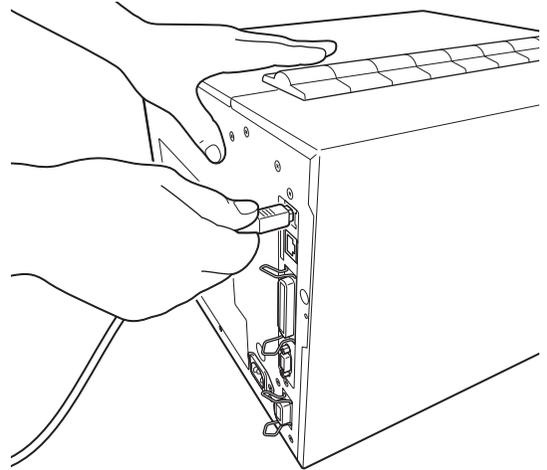
インタフェースケーブルを接続する

⚠ 注意

- インタフェースケーブルおよび SD カード、USB メモリを抜き挿しするときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。

インタフェースの規格に適合したケーブルをご使用ください。

差し込む向きを確認してください。
本プリンタを片手で押さえて、しっかりと差し込んでください (37 ~ 38 ページ)。

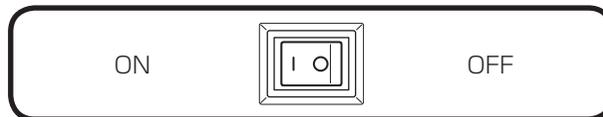


SD カードおよび USB メモリの取り付けは差し込む向きを確認してください (99 ~ 100 ページ)。

本プリンタの電源を入れてみましょう

⚠ 警告

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。
感電するおそれがあります。



プリンタ本体前面の電源スイッチを入れます。「I」と書いてある側を押してください。

電源を入れるとディスプレイに「オンライン」と表示されます。



本プリンタの電源を切りましょう

本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

▲電源を切る前に確認してください

必ず次のことをおこなってから、電源を切ってください。

オフライン状態にする

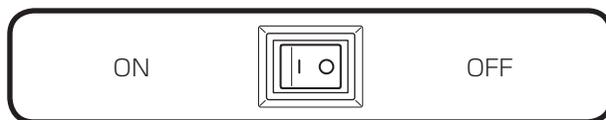
本プリンタの電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。ディスプレイに次のように「オンライン」と表示されているときは、オンライン状態になっています。



LINE キーを押して、オフライン状態にします。ディスプレイに「オフライン」と表示されます。



オフライン状態になっていることを確認して、プリンタ本体前面の電源スイッチの「○」と書いてある側を押してください。

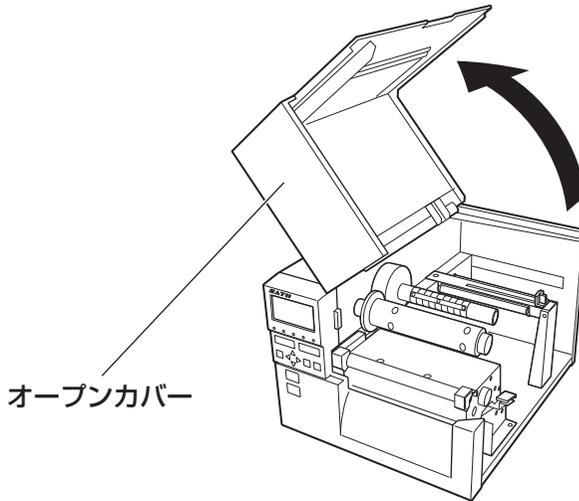


6 カーボンリボンのセット

本プリンタには、サトーのカーボンリボン“純正”のご使用をお願いします。
カーボンリボンをセットします。

リ
用
紙
の
カ
ー
ボ
ン
リ
ボ
ン

1. オープンカバーを開けます。



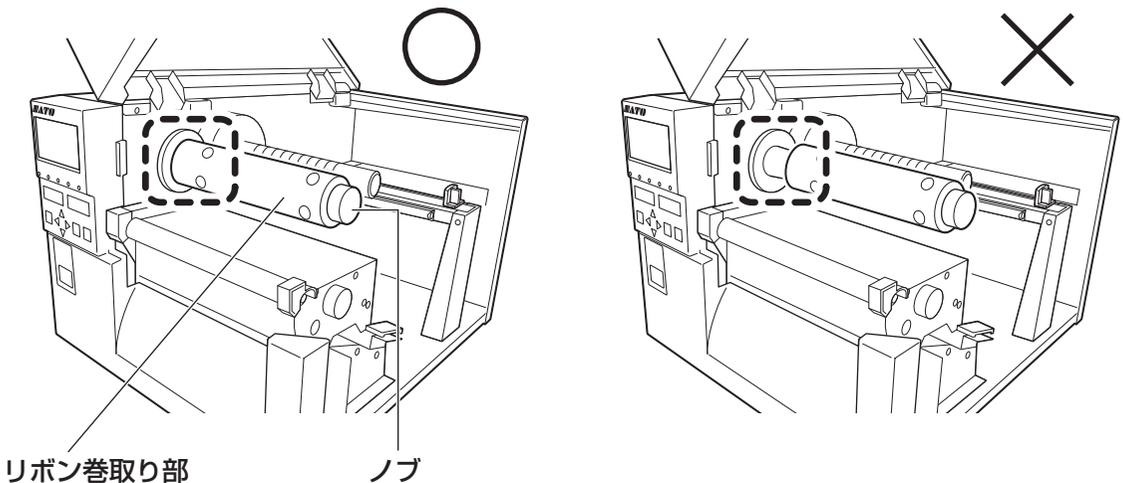
⚠ 注意

- オープンカバーは、上部までしっかり開けてください。

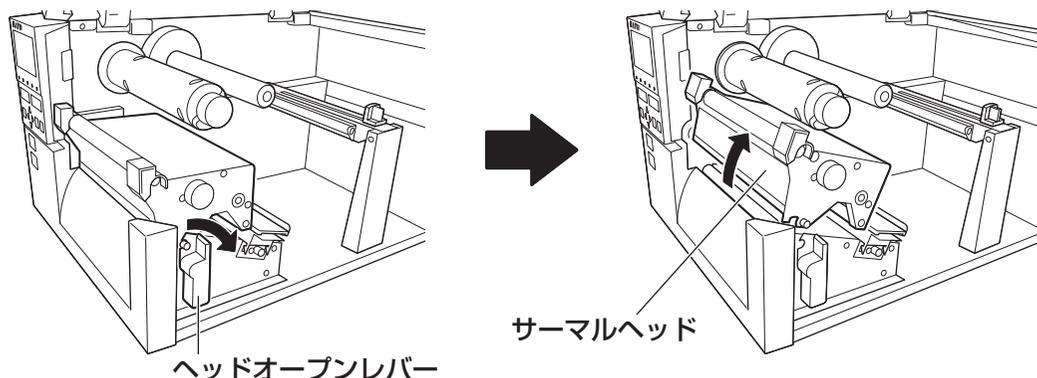
2. リボン巻取り部を奥まで押し込んだ状態で、ノブを 90 度回してリボン巻取り部の▲印とノブの▲印を合わせロックします。

正) リボン巻取り部が奥側にセットされている状態

誤) リボン巻取り部が手前に引き出されている状態

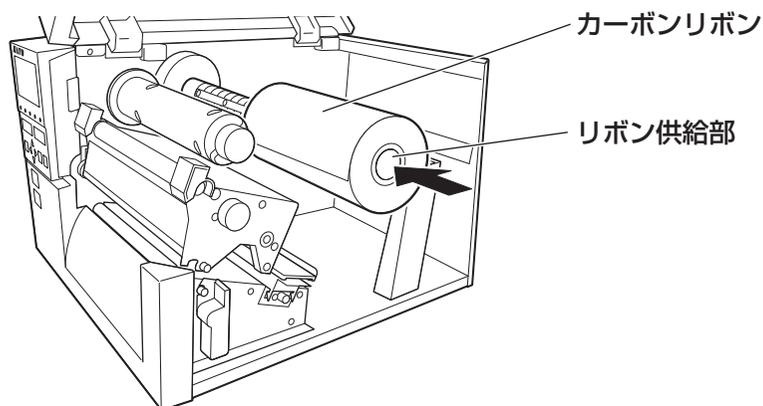


3. ヘッドオープンレバーを矢印の方向に回します。サーマルヘッドが開きます。

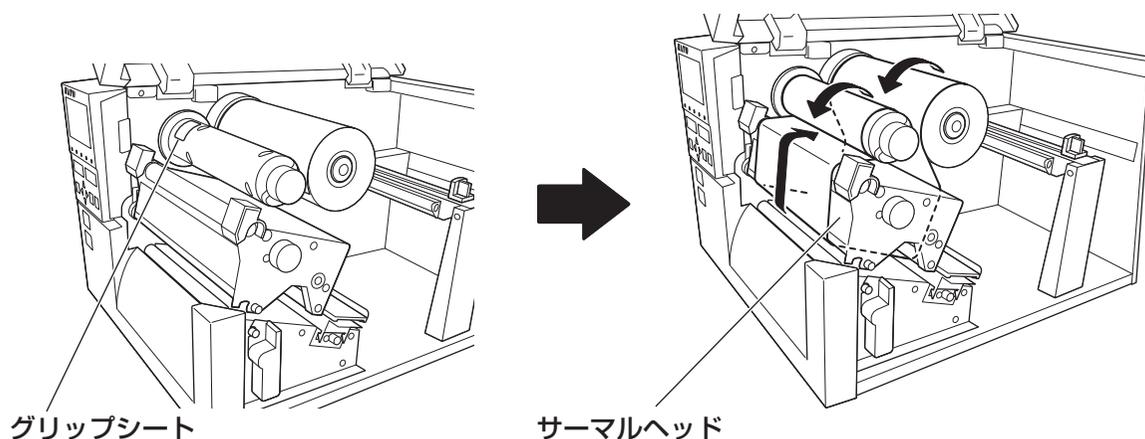


4. リボン供給部に、カーボンリボンを入れます。

巻き方向に注意して、カーボンリボンを奥まで入れてください（オープンカバー内部に貼られているルートステッカをご覧ください）。



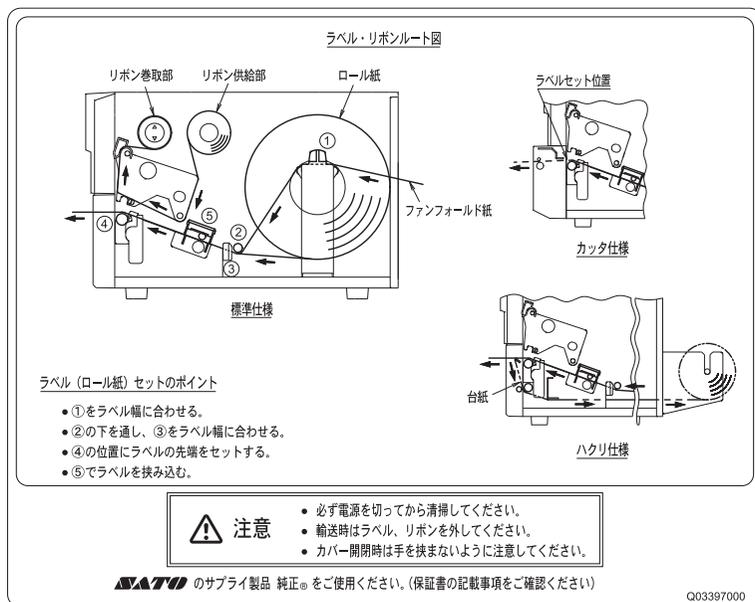
5. カーボンリボンをリボン供給部からサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。リボン巻取り部のグリップシートに直接カーボンリボンを巻きつけて、数回反時計方向に回します。横から見て次ページのルートステッカ図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。



⚠ 注意

- リボン巻取り部にカーボンリボンをテープで固定しないでください。

オープンカバーに貼られているルートステッカをご覧ください。



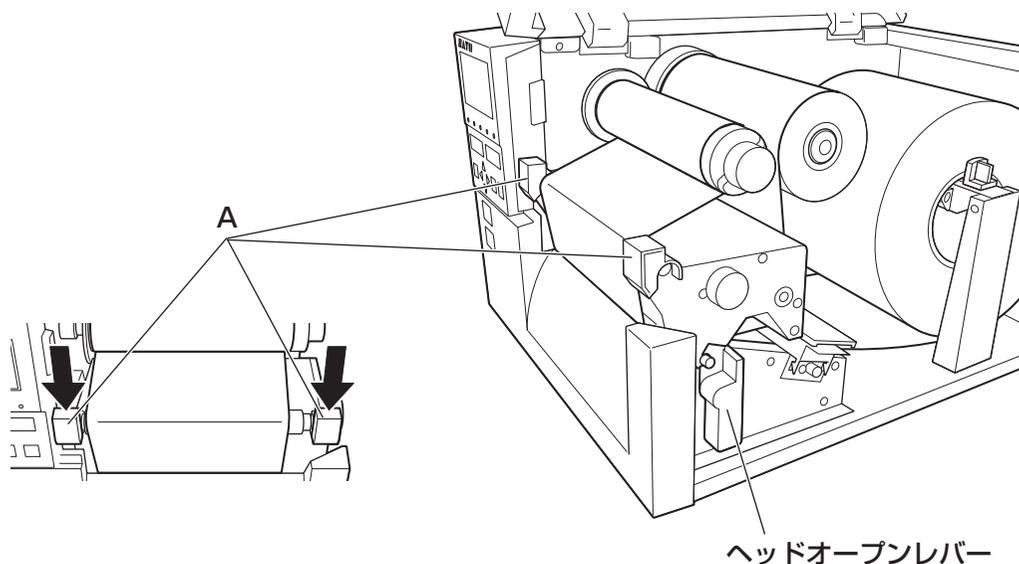
⚠ 注意

- 印字終了直後はサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- カーボンリボンの交換は、ケガをしないように注意してください。

6. 用紙をセットします。

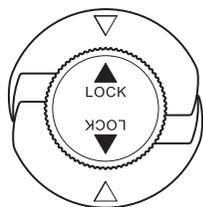
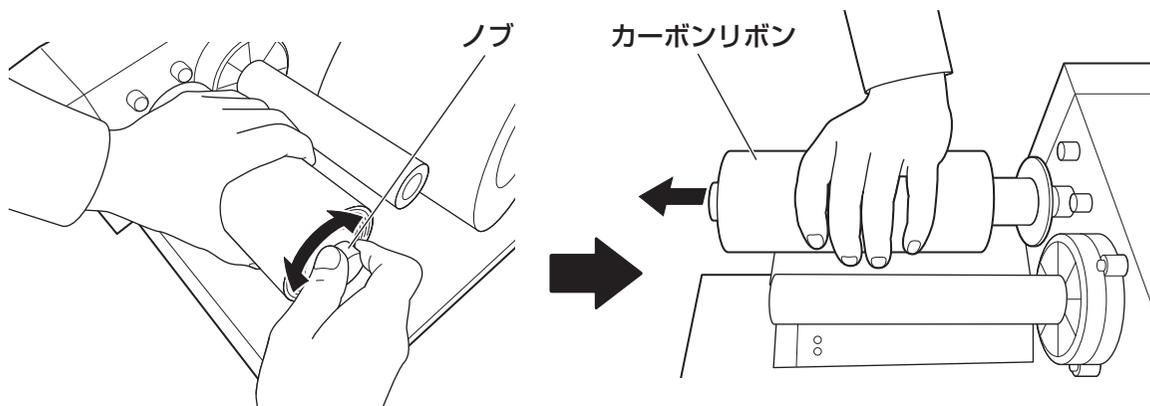
ロール紙のセットの2～7項をご覧ください(23～25ページ)。

7. 紫色の「A」部を左右同時に下に押し、サーマルヘッドを閉じます。カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。ヘッドオープンレバーが固定されたことを確認してください。

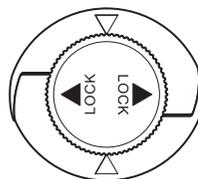


▲巻き取ったカーボンリボンの取り外し方

リボン巻取り部に巻き取ったカーボンリボンをつかみ、ノブを90度回しロックを解除して、引き抜きます。カーボンリボンを取り外した後は、リボン巻取り部を奥まで押し込み、ノブを90度回してロックします。



リボン巻取り部がロックした状態



ロックが解除された状態

⚠ 注意

- カーボンリボン 1 巻ごとに、巻き取ったカーボンリボンを取り外してください。
- カーボンリボンを取り外す際、手がインクで汚れる場合があります。
- ロックが解除された状態でのカーボンリボンの巻取りはできません。
- ロックが解除された状態でオープンカバーを閉めないでください。

7 用紙のセット

本プリンタは、ロール紙・ファンフォールド紙に印字できます。

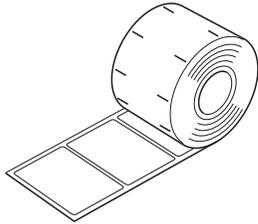
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセット方法が違います。

本プリンタには、サトーの用紙“純正”のご使用をお願いいたします。

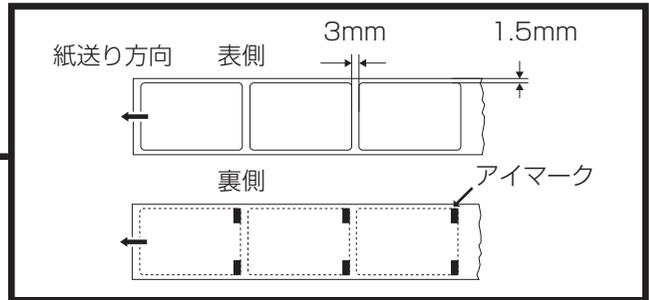
また、用紙の保管は、直射日光、高温、多湿、異常乾燥などを避けてください。

リ
ボ
ン
の
カ
セ
ー
ボ
ン

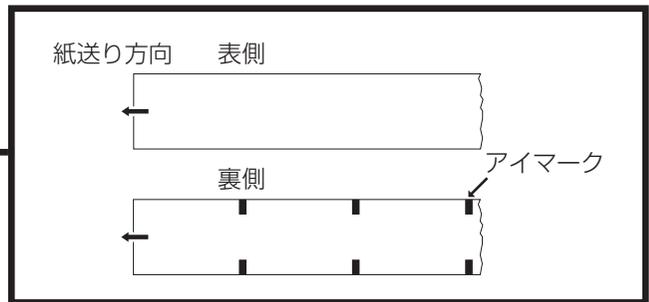
ロール紙



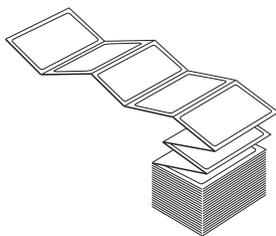
ラベルタイプ



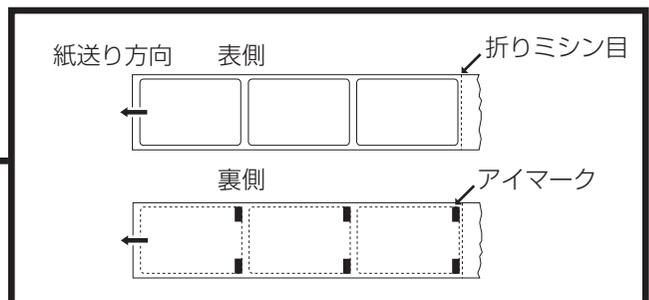
糊なしタイプ



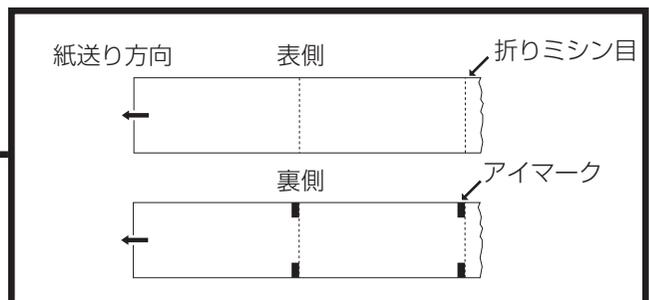
ファンフォールド紙



ラベルタイプ



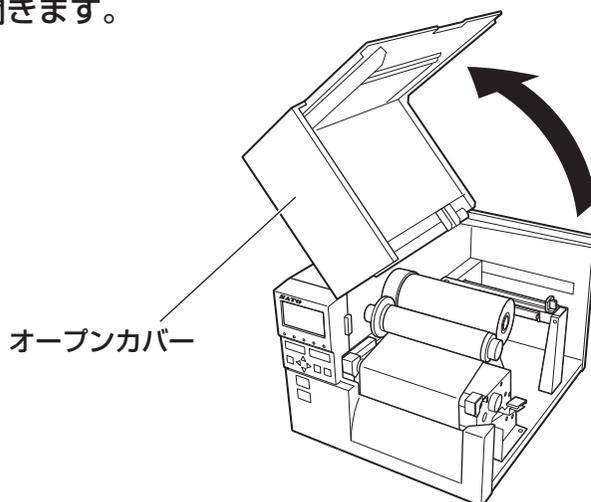
糊なしタイプ



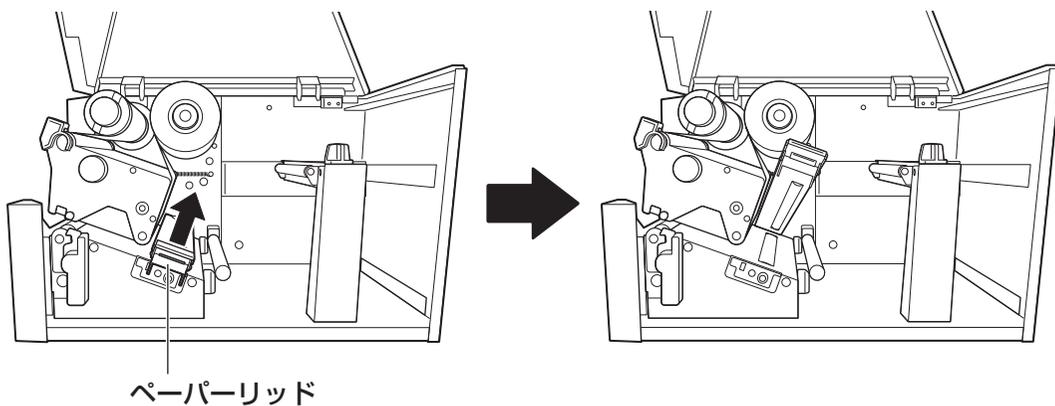
標準仕様

ロール紙のセット

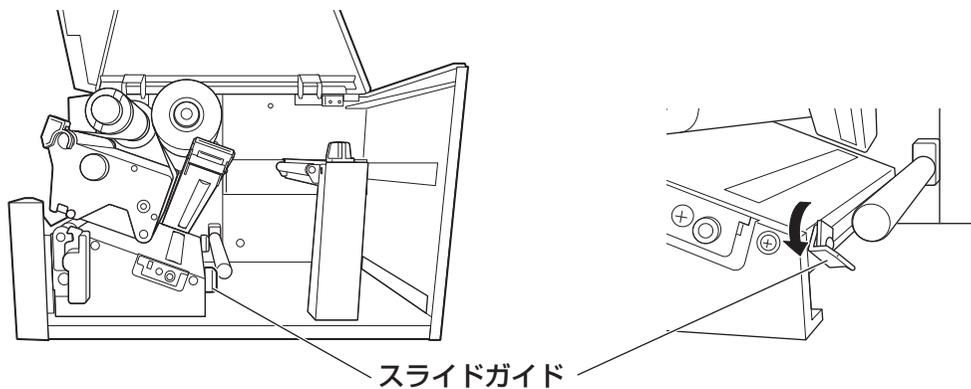
1. オープンカバーを開きます。



2. ペーパーリッドのレバーを引き上げます。

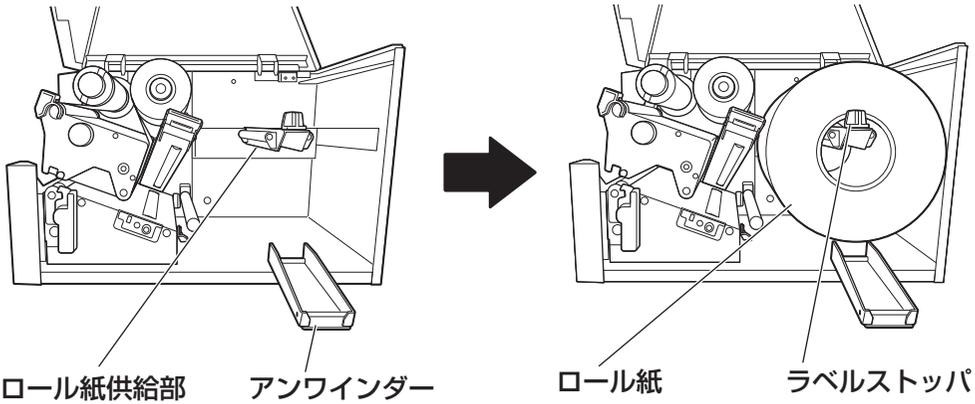


3. スライドガイドを手前に引き、斜めに倒します。



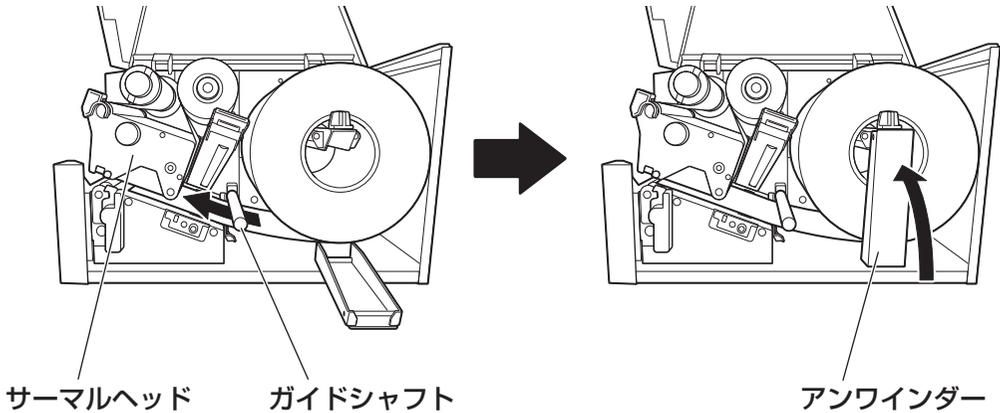
4. アンワインダーを倒し、ロール紙をロール紙供給部の奥側にセットします。

ラベルストッパをスライドさせて、ロール紙が動かないように調整します。



5. 用紙の先端をガイドシャフトの下に通し、次にサーマルヘッド部の下に通します。アンワインダーを引き上げます。

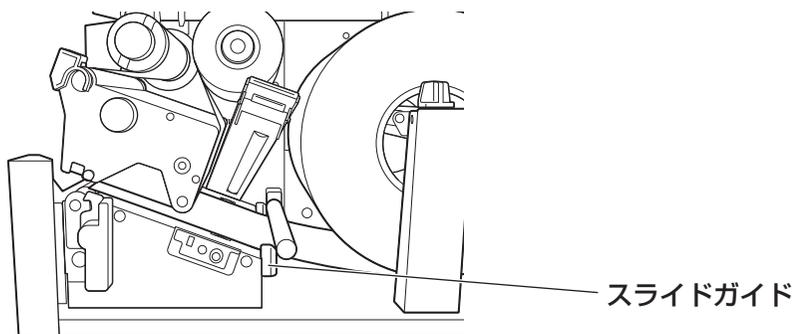
カチッと音がして固定されたことを確認してください。



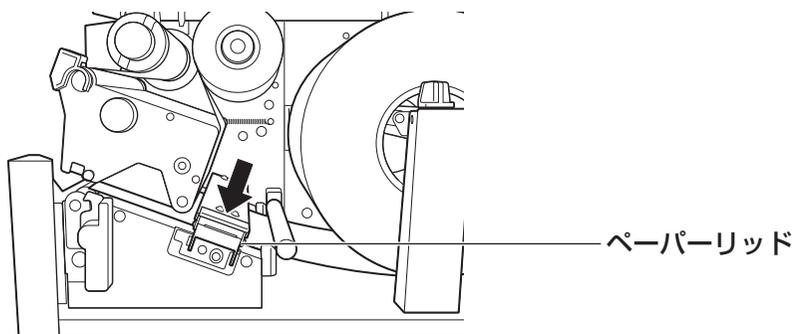
⚠ 注意

- 印字終了直後はサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意してください。

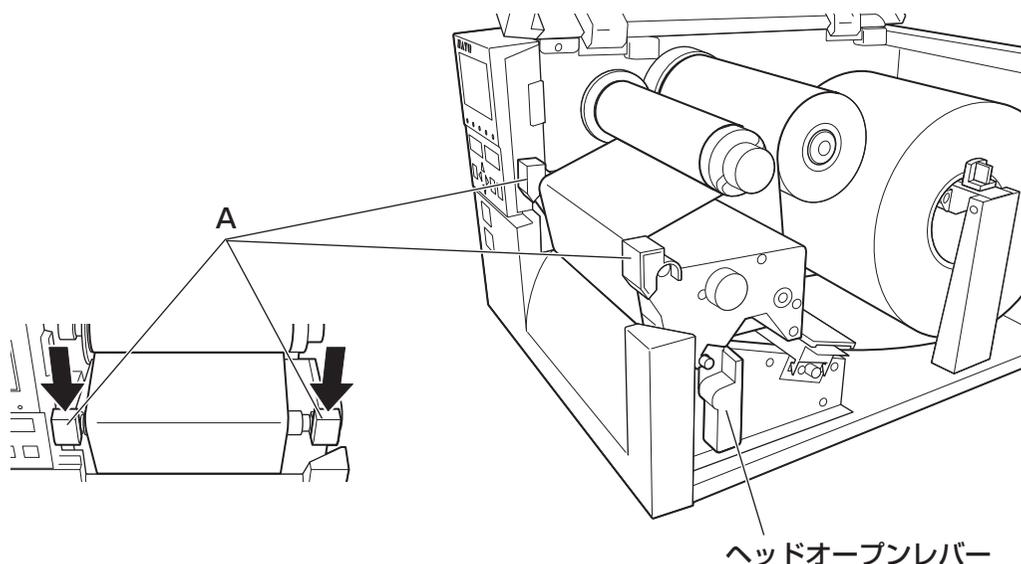
6. スライドガイドを立て直して、用紙の手前端が、軽く触れるようにスライドガイドを調整します。



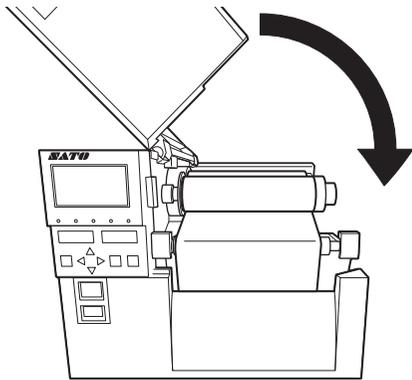
7. ペーパーリッドを押し下げます。
カチッと音がして固定されたことを確認してください。



8. 紫色の「A」部を左右同時に下に押し、サーマルヘッドを閉じます。カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。ヘッドオープンレバーが固定されたことを確認してください。



9. オープンカバーを閉じます。

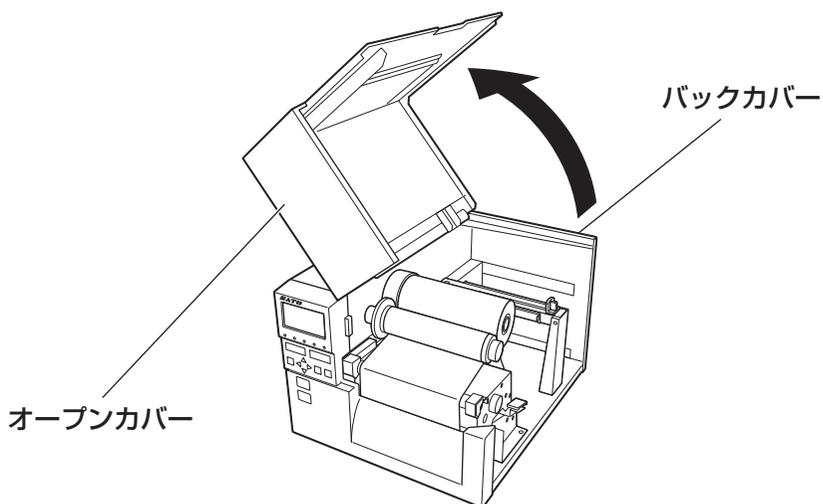


⚠ 注意

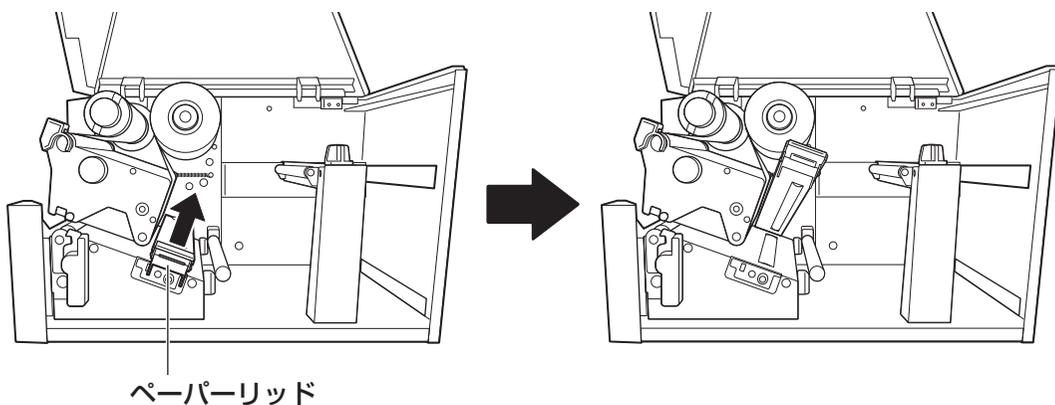
- オープンカバーを閉めるときは、カバーに手を挟まないように注意してください。

ファンフォールド紙のセット

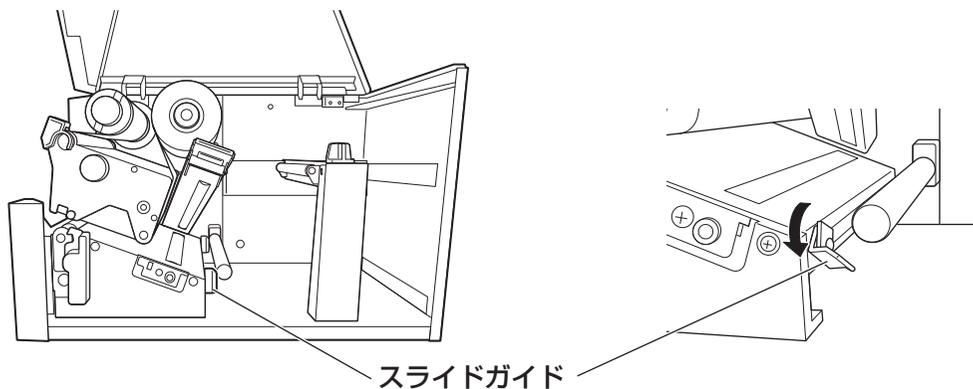
1. オープンカバーを開きます。バックカバーを外します（12 ページ）。
外したバックカバーは大切に保管してください。



2. ペーパーリッドのレバーを引き上げます。

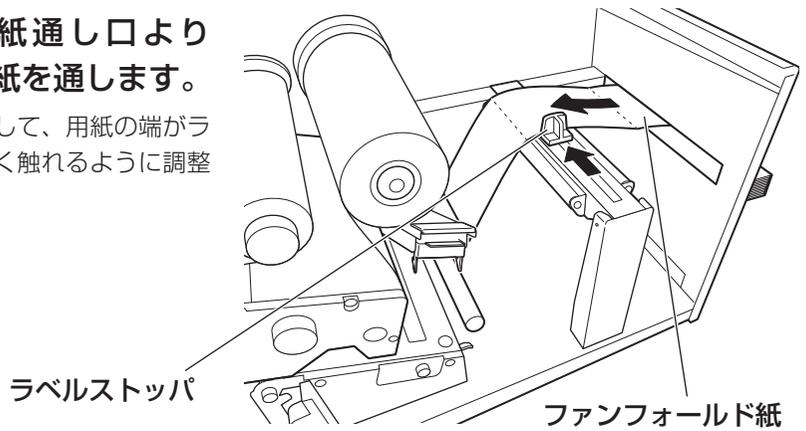


3. スライドガイドを手前に引き、斜めに倒します。



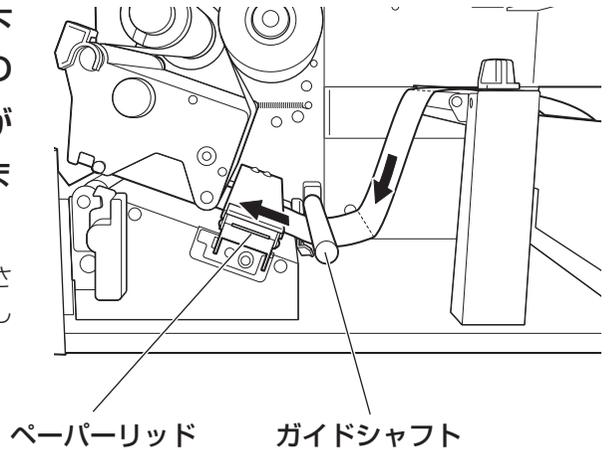
4. ファンフォールド紙通し口より ロール紙供給部に用紙を通します。

ラベルストップをスライドして、用紙の端がラベルストップと奥の面と軽く触れるように調整します。



5. 用紙の先端をガイドシャフトの下 に通し、次にサーマルヘッド部の 下に通します。スライドガイドが 用紙の端に軽く触れるようにしま す。

調整後は、ペーパーリッドを押し下げてください。カチッと音がして固定されたことを確認してください。

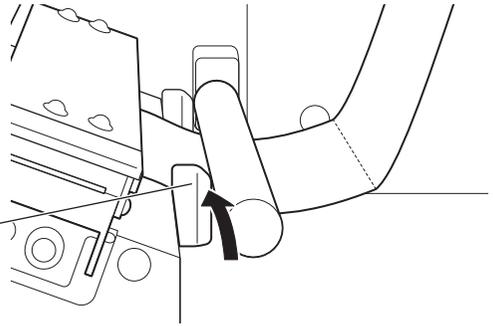


⚠ 注意

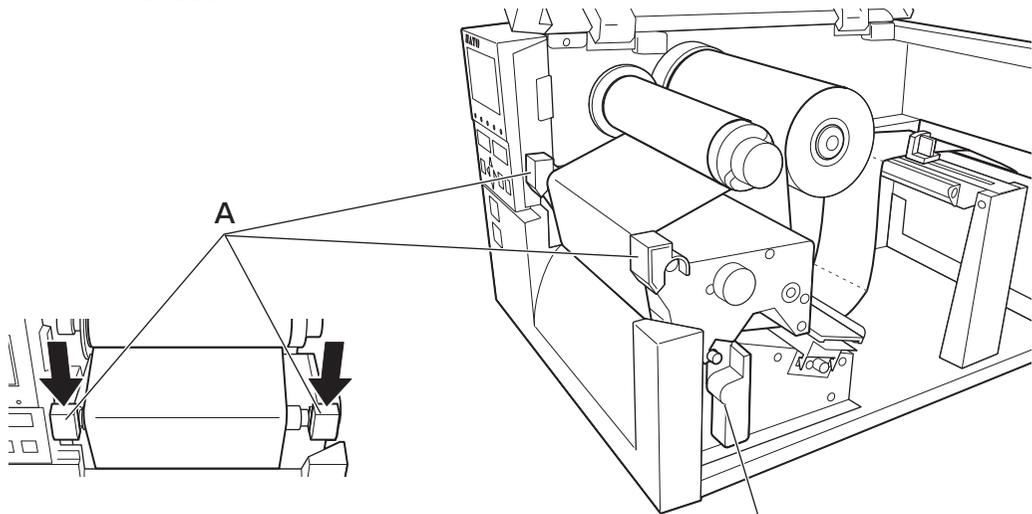
- 印字終了直後はサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意してください。

6. スライドガイドを立て直して、用紙の手前端が、軽く触れるようにスライドガイドを調整します。

スライドガイド

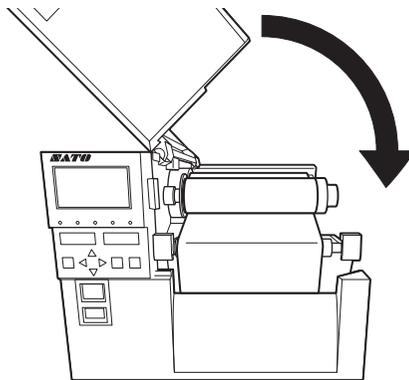


7. 紫色の「A」部を左右同時に下に押して、サーマルヘッドを閉じます。カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。ヘッドオープンレバーが固定されたことを確認してください。



ヘッドオープンレバー

8. オープンカバーを閉じます。

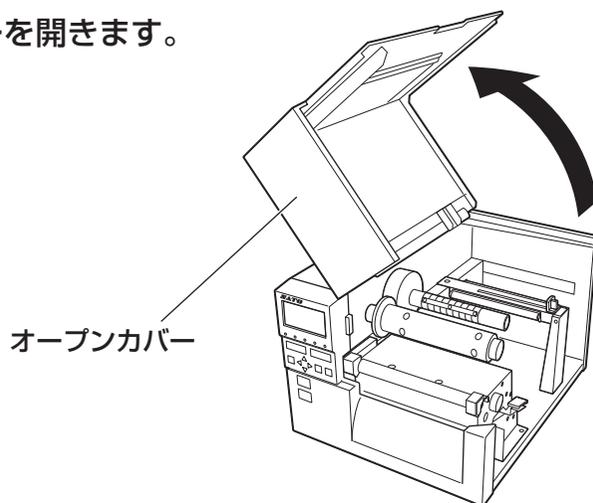


⚠ 注意

- オープンカバーを閉めるときは、カバーに手を挟まないように注意してください。

ヘッド圧の調整

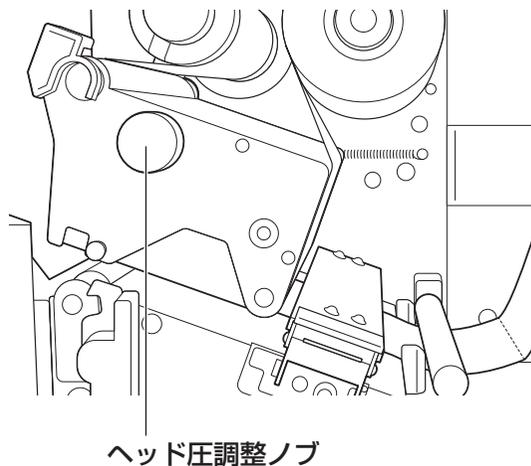
1. オープンカバーを開きます。



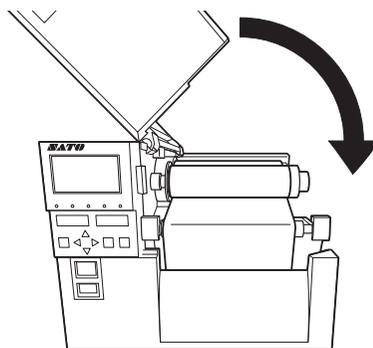
2. サーマルヘッド部の横にあるヘッド圧調整ノブにてヘッド圧を調整します。ヘッド圧は、印字フォーマット、用紙、カーボンリボンの種類によって調整します。

ヘッド圧は、3で高く1で低くなります。

印字が濃い場合は、ヘッド圧を低くしてください。印字が薄い場合は高くしてください。



3. オープンカバーを閉じます。



⚠ 注意

- オープンカバーを閉めるときは、カバーに手を挟まないように注意してください。

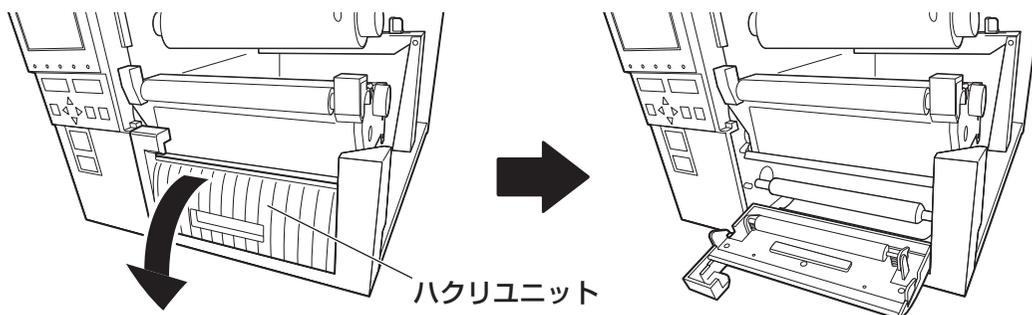
ハクリ仕様 (オプション)

用紙のセット

1. オープンカバーを開きます。

カーボンリボンのセットの 1 項をご覧ください (18 ページ)。

2. ハクリユニットを矢印の方向に開きます。



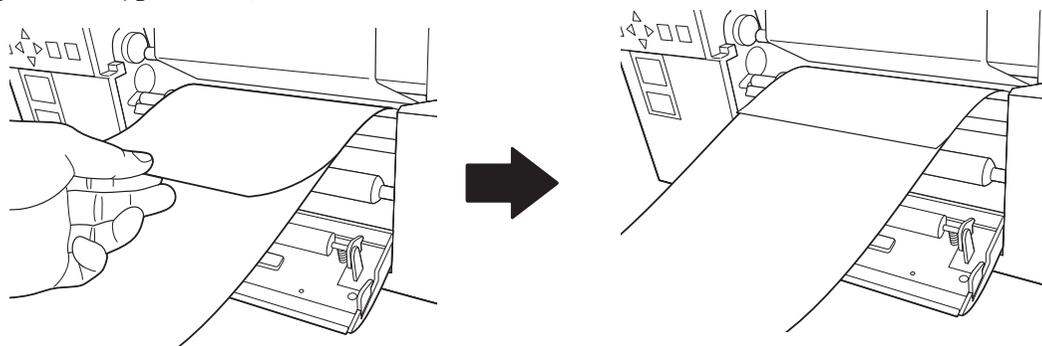
3. カーボンリボンをセットします。

カーボンリボンのセットの 2 ~ 5 項をご覧ください (18 ~ 19 ページ)。

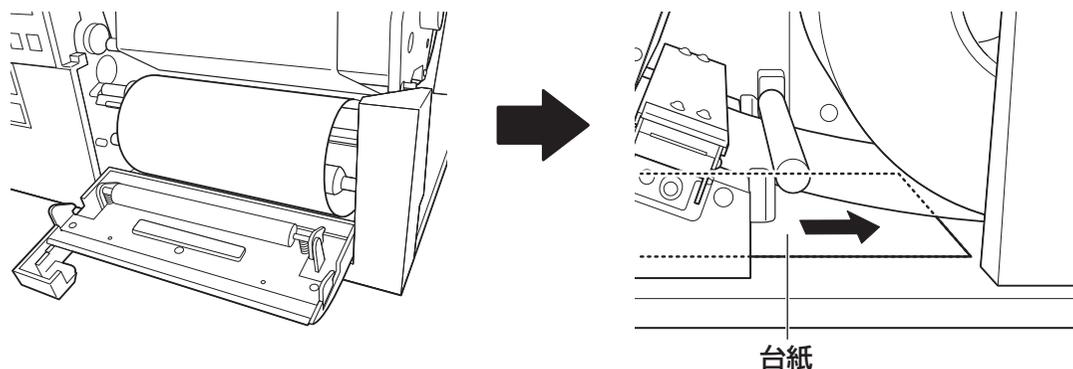
4. 用紙をセットします。

ロール紙のセットの 3 ~ 6 項をご覧ください (23 ~ 25 ページ)。

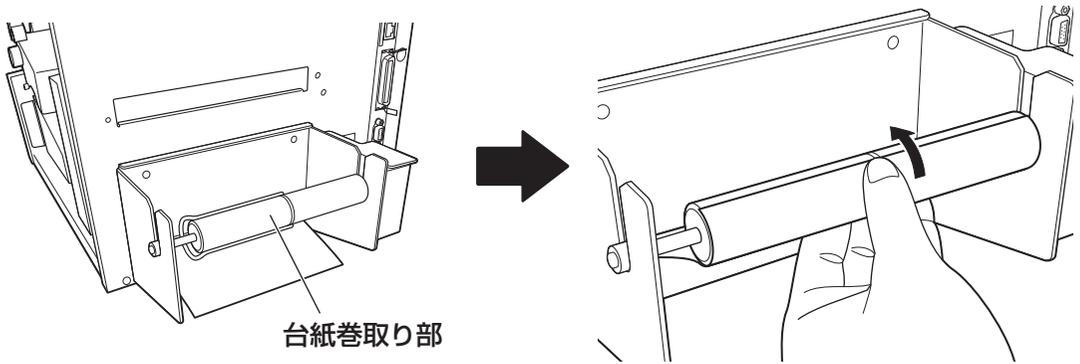
5. 約 50cm 分のラベルをはがします。



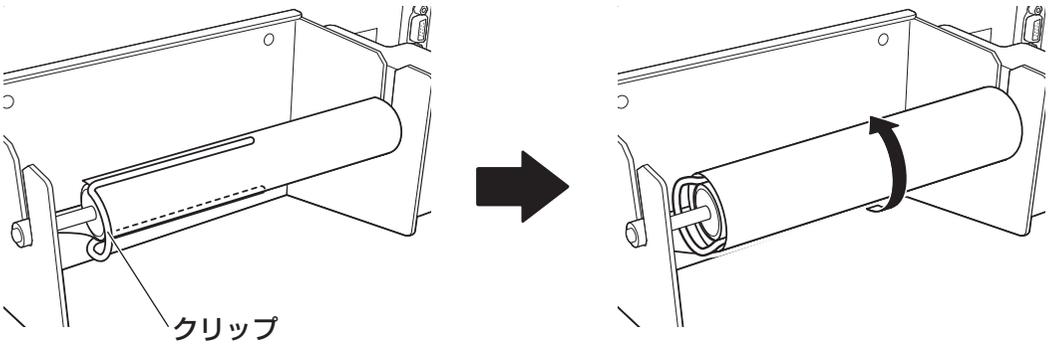
6. 台紙をハクリユニットの中に入れ、プリンタ内部に通します。



7. プリンタ内部を通した台紙をプリンタ背面の台紙巻取り部に反時計回りに巻きつけます。



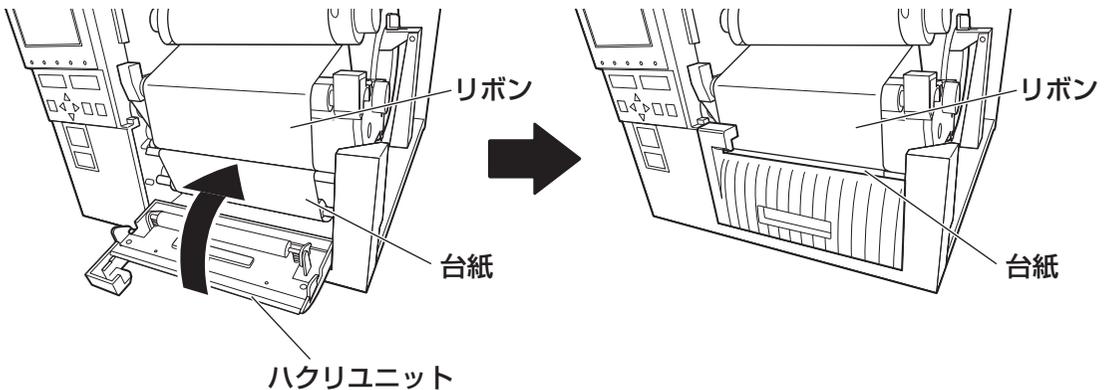
8. 台紙を台紙巻取り部に巻きつけたら、クリップを通して台紙を挟みます。矢印の方向に巻きつけます。



9. ペーパーリッドを押し下げ、サーマルヘッド部を閉じます。

ロール紙のセットの7～8項をご覧ください(25ページ)。

10. ハクリユニットを閉じ、オープンカバーを閉じます。



⚠ 注意

- オープンカバーを閉めるときは、カバーに手を挟まないように注意してください。

停止位置の調整

ハクリ時のラベル停止位置は、ラベルを 4mm 台紙に残す位置が正規位置になります。
ラベルの停止位置が正規の位置にない場合、調整モード操作のオフセット調整画面で調整します。

▲停止位置の調整

1. 本プリンタがオンライン状態のとき、**LINE**キーを押してオフライン状態にします。



2. 本プリンタがオフライン状態のとき、**▼**キーを押すと印字位置調整画面に変わります。印字位置調整画面で**ENTER**キーを押すとオフセット調整画面に変わります。



3. **▲**・**▼**キーで設定値を変更します。

設定範囲は、- 3.75 ~ + 3.75mm です。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後

“-”：印字方向に対し前

ENTERキーを押すと設定が登録され、印字濃度調整画面に変わります。

調整モードを終了する場合は、印字濃度調整画面で**CANCEL**キーまたは

FUNCTIONキーを押してください。



カッタ仕様（オプション）

用紙のセット

1. オープンカバーを開きます。

カーボンリボンのセットの 1 項をご覧ください（18 ページ）。

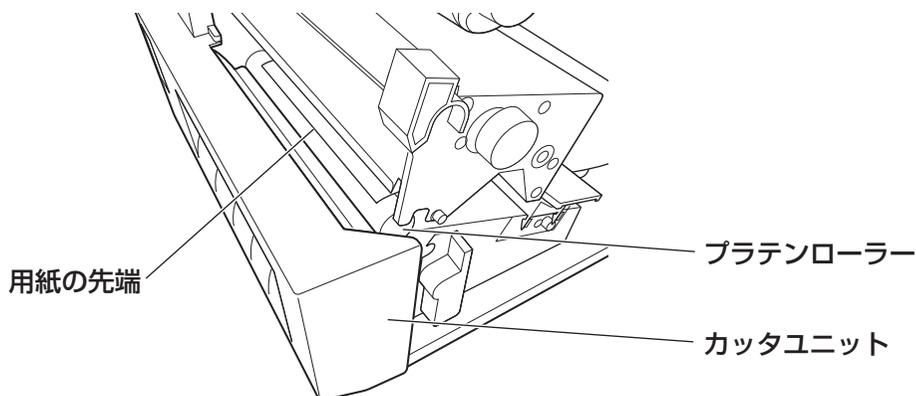
2. カーボンリボンをセットします。

カーボンリボンのセットの 2～5 項をご覧ください（18～19 ページ）。

3. 用紙をセットします。

- ロール紙のセットの 2～7 項をご覧ください（23～25 ページ）。
- ファンフォールド紙のセットの 2～6 項をご覧ください（27～29 ページ）。

4. プラテンローラーの上に用紙の先端をセットします。



5. サーマルヘッド部を閉じます。

- ロール紙のセットの 8 項をご覧ください（25 ページ）。
- ファンフォールド紙の 7 項をご覧ください（29 ページ）。

6. オープンカバーを閉じます。

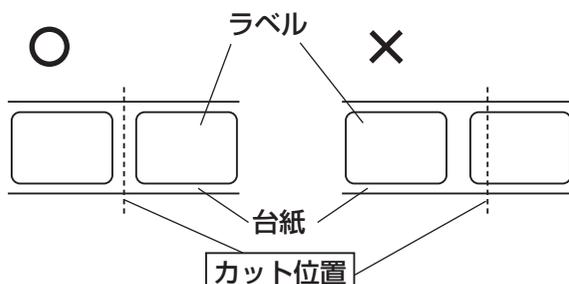
⚠ 注意

- オープンカバーを閉めるときは、カバーに手を挟まないように注意してください。

カット位置の調整

▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間（台紙のみの部分）が正規のカット位置になります。



カット位置が正規位置にない場合、調整モード操作のオフセット調整画面で調整します。ラベルのカットは、のりがカッタ刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。

▲カット位置調整

1. 本プリンタがオンライン状態のとき、**[LINE]**キーを押してオフライン状態にします。



2. 本プリンタがオフライン状態のとき、**[▼]**キーを押すと印字位置調整画面に変わります。印字位置調整画面で**[ENTER]**キーを押すとオフセット調整画面に変わります。



3. **[▲]**・**[▼]**キーで設定値を変更します。

設定範囲は、- 3.75 ~ + 3.75mm です。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後

“-”：印字方向に対し前

[ENTER]キーを押すと設定が登録され、印字濃度調整画面に変わります。

調整モードを終了する場合は、印字濃度調整画面で**[CANCEL]**キーまたは

[FUNCTION]キーを押してください。



▲ミシン目のある用紙のカット

ロール紙の場合、ミシン目の上から手前 1mm まではカット禁止領域（図 1）です。
 またファンフォールド紙の折りミシン目から + 4 ~ + 25mm もカット禁止領域（図 2）です。
 この部分でのカットは動作不良の原因になります。
 ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするように、調整モード操作のオフセット調整画面で調整します。

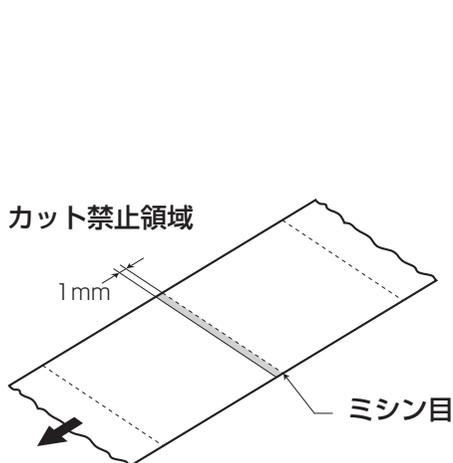


図 1 ロール紙の場合

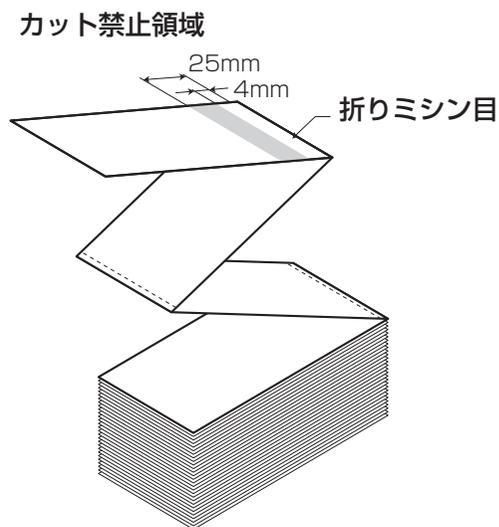
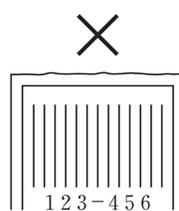
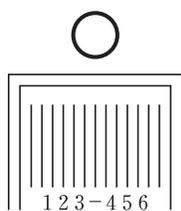


図 2 ファンフォールド紙の場合

カッタの交換

カッタを使用し続けると、磨耗により切れが悪くなり、カット面がケバ立ちます。
 このような状態になったら、カッタユニットの交換が必要です。
 その際は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。



8 インタフェースの接続

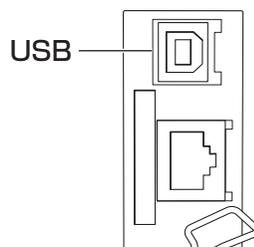
⚠ 注意

- インタフェースケーブルおよび SD カード、USB メモリを抜き挿しするときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。

USB インタフェース

プリンタ背面の USB コネクタに USB ケーブルを接続してください。

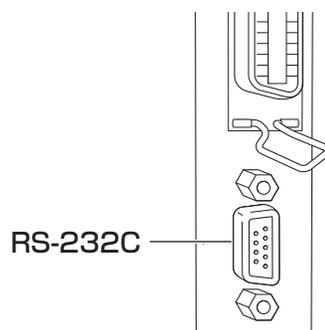
USB の通信設定は、各インタフェースの設定画面について (58 ページ) をご覧ください。



RS-232C インタフェース

プリンタ背面の RS-232C コネクタに RS-232C ケーブルを接続してください。

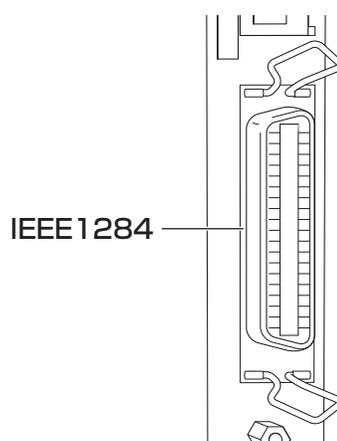
RS-232C の通信設定は、各インタフェースの設定画面について (59 ~ 61 ページ) をご覧ください。



IEEE1284 インタフェース

プリンタ背面の IEEE1284 コネクタに IEEE1284 ケーブルを接続してください。

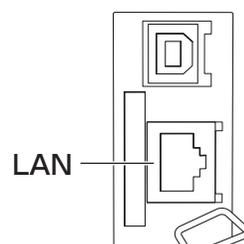
IEEE1284 の通信設定は、各インタフェースの設定画面について (62 ~ 63 ページ) をご覧ください。



LAN インタフェース

プリンタ背面の LAN コネクタに LAN ケーブルを接続してください。

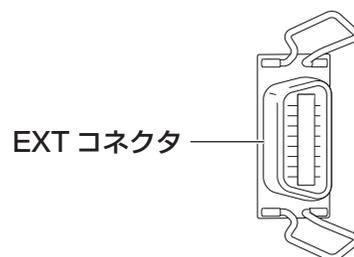
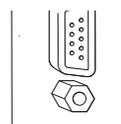
LAN の通信設定は、各インタフェースの設定画面について (64 ~ 67 ページ) をご覧ください。



EXT コネクタ (外部信号インタフェース)

プリンタ背面の EXT コネクタに外部信号インタフェースケーブルを接続してください。

外部信号インタフェースの設定画面について (78 ~ 79 ページ) をご覧ください。



アンフェノール 14 ピン (メス)

Bluetooth インタフェース

Bluetooth の通信インタフェースの通信設定は、各インタフェースの設定画面について (68 ~ 70 ページ) をご覧ください。

SD カードスロット・USB スロット (タイプ A)

通信用のインタフェースではありません。SD カード^{*1} および USB メモリ^{*2} を使用して印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶することができます。はじめて SD カードおよび USB メモリを使用する場合は、初期化してください。初期化については、メモリカードモード (71 ページ) をご覧ください。

*1 SD カードは、サトー純正品のご使用をお願いします。

*2 USB メモリのご使用については、オプション (99 ページ) をご覧ください。

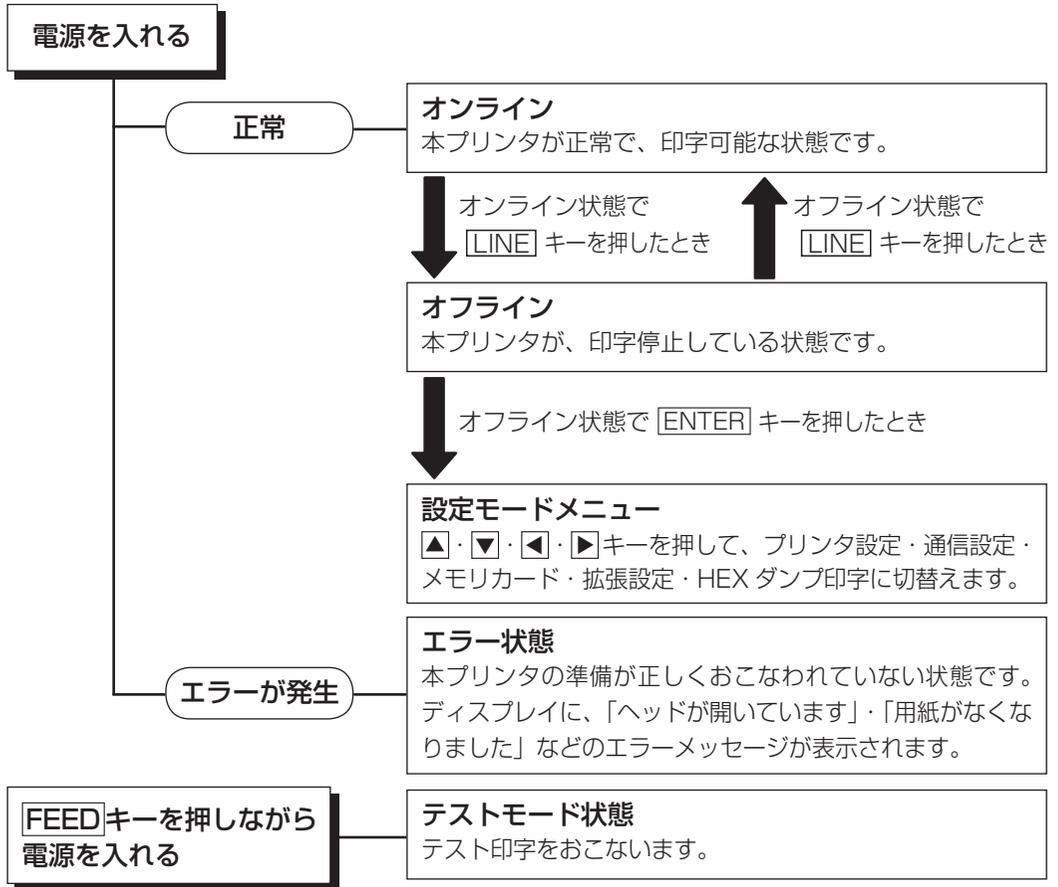
9 動かしてみましょ

それでは、本プリンタを動かしてみましょ。本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや機能を覚えてください。

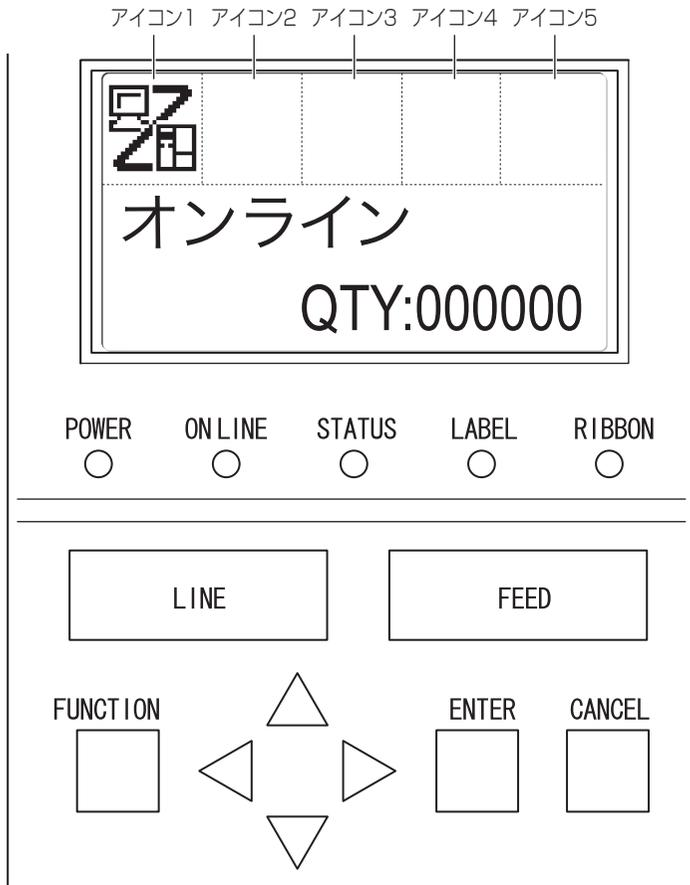
動かしてみる前に

本プリンタはオンライン・オフライン・プリンタ設定モード・エラー・テストモードの5つの状態から操作をおこないます。

5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



ディスプレイの表示



動かしてみましょ

▲アイコン一覧

【モード表示】

No	アイコン	説明	表示位置
1		プリンタがオンライン状態のときに表示します。	アイコン 1
2		プリンタがオフライン状態のときに表示します。	アイコン 1
3		プリンタがテスト印字モードまたはダンプ印字モードのときに表示します。	アイコン 1
4		プリンタがダウンロードモードのときに表示します。	アイコン 1
5		プリンタがアップロードモードのときに表示します。	アイコン 1
6		プリンタがメモ리카ードモードのときに表示します。	アイコン 1

【設定画面】

No	アイコン	説明	表示位置
1		プリンタがオンラインモードに変わります。	—
2		プリンタがプリンタ設定モードに変わります。	—
3		プリンタが通信設定モードに変わります。	—
4		プリンタがメモ리카ードモードに変わります。	—
5		プリンタが拡張設定モードに変わります。	—
6		プリンタがダンプ印字モードに変わります。	—

【エラー関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		ラベルエンドまたはメディアエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
2		リボンエンドを検出したときに表示します。	アイコン 1
3		センサエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
4		ヘッドオープンを検出したときに表示します。	アイコン 1
5		ヘッド断線を検出したときに表示します。	アイコン 1
6		通信エラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
7		受信バッファオーバーを検出したときに表示します。	アイコン 1
8		アイテム No エラーまたは BCC エラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
9		カッタエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
10		メモリカードアクセスに失敗したときに表示します。 また、メモリカードに空き領域がないときにも表示します。	アイコン 1
11		メイン ROM への書込みに失敗したときに表示します。また、漢字 ROM エラーを検出したときも表示します。	アイコン 1
12		上記以外のプリンタエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
13		各種エラーに対応したエラー番号を表示します。	アイコン 2

【警告関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		リボンニアエンドを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
2		コマンドエラーを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
3		受信バッファニアフルを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
4		サーマルヘッドが断線しているときに表示します。	アイコン 3～5

【音量調整関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		音量 3 (最大) の状態のときに表示します。	アイコン 5
2		音量 2 の状態のときに表示します。	アイコン 5
3		音量 1 の状態のときに表示します。	アイコン 5
4		音量 0 (消音) の状態のときに表示します。	アイコン 5

音量は、0 → 1 → 2 → 3 の順で大きくなります。

▲ LCD 表示の濃度調整

『オンラインモード』のときに、・キーを押すと表示濃度を調整できます。



- 左右 16 段階 (全 32 段階) で表示濃度の調整が可能です。
- ・キーを 1 回押すことで 1 段階変化します。

本プリンタの詳しい操作のしかたを説明します。

オンライン操作

オンライン状態



本プリンタが正常な状態で、印字可能な状態です。
本プリンタがオンライン状態のとき、次の操作ができます。

- 本プリンタに接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートできます。
- **LINE** キーを押すと、オフライン状態に切替えたり、印字を中断することができます。

オフライン操作

オフライン状態

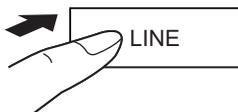


本プリンタが印字停止している状態です。
本プリンタがオフライン状態のとき、次の操作ができます。

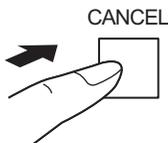
- **LINE** キーを押すと、オンライン状態に変わります。
- **FEED** キーを押すと、用紙を 1 枚送ります。
- **ENTER** キーを押すと、設定モードメニューに変わります。

発行中の印字データキャンセル操作

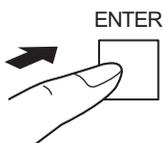
印字動作中に[LINE]キーを押すと、印字動作が一時停止します。
その状態のとき[CANCEL]キーを押すと、受信済みの印字データをすべてクリアできます。



[LINE]キーを押します。
オフライン状態に変わります。



[CANCEL]キーを押します。
印字キャンセル画面に変わります。



◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。

[ENTER]キーを押すと次の設定画面に変わります。

【“する”を選択した場合】



“する”は、受信済みの印字データをクリアし、完了画面を表示した後、約3秒後にオフライン状態に戻ります。



【“しない”を選択した場合】



“しない”は、オフライン状態に戻ります。

調整モード操作

印字位置、オフセット位置、印字濃度を調整します。



[LINE] キーを押します。
オフライン状態に変わります。



▼キーを押します。
印字位置調整画面に変わります。

1. 印字位置調整



印字位置を調整します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、-3.75 ~ +3.75mm です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、オフセット調整画面に変わります。
- 初期値は、+0.00mm です。

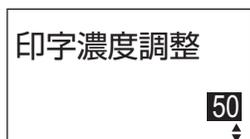
2. オフセット調整



停止位置およびカット位置（33 ページ、35 ページ）を調整します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、-3.75 ~ +3.75mm です。
 - “+”と“-”は、移動方向です。
 - “+”：印字方向に対し後
 - “-”：印字方向に対し前
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、印字濃度調整画面に変わります。
- 初期値は、+0.00mm です。

3. 印字濃度調整



印字濃度を調整します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、00～99です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、印字位置調整画面に変わります。
- 調整モードを終了する場合は、[CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押してください。オフライン状態に変わります。
- 初期値は、50です。

ブザー音量調整操作

ブザーの音量を調整します。



オンライン画面またはオフライン画面で ▲ キーを押します。
ブザー音量調整画面に変わります。

1. ブザー音量調整



- ▲キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は消音、1、2、3です。
 - ・▲キーを押すたびに 1 → 2 → 3 → 消音 → 1 … の順に変わります。
- [LINE] キーを押すと設定が登録され、もとの画面に戻ります。
- 初期値は、2です。

画面はオフライン状態から移行したときの画面です。

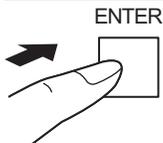
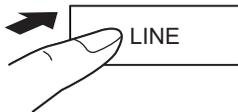
エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな」で説明します（90ページ）。

設定モードメニュー操作

プリンタ設定、通信設定、メモリカード、拡張設定、HEX ダンプ印字をします。

◆ 設定モードメニューの呼出し



本プリンタの印字条件を設定するには、設定モードメニューを呼び出します。

まず、**LINE** キーを押してオフライン状態にします。

次に、**ENTER** キーを押します。

ディスプレイに、次のように表示します。

各設定モードは、**▲**・**▼**・**◀**・**▶** キーでカーソル位置を合わせて **ENTER** キーを押します。

- プリンタ設定 (49 ページ)
- 通信設定 (55 ページ)
- メモリカード (71 ページ)
- 拡張設定 (73 ページ)
- HEX ダンプ印字 (82 ページ)

● **CANCEL** キーまたは **FUNCTION** キーを押すとオフラインに戻ります。

プリンタ設定



設定モードメニューで、▲・▼・◀・▶キーを押して「プリンタ設定」を選びます。

プリンタ設定メニューには以下のメニューがあります。



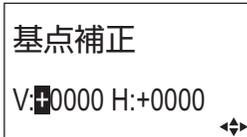
- 調整内容表示 (50 ページ)



- 印字速度設定 (50 ページ)



- 印字濃度設定 (51 ページ)



- 印字位置補正設定 (51 ページ)



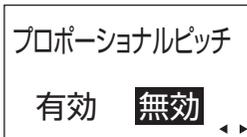
- ゼロスラッシュ切替設定 (53 ページ)



- 文字コード切替設定 (54 ページ)



- 漢字書体切替設定 (54 ページ)



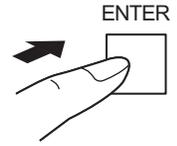
- プロポーションナルピッチ設定 (54 ページ)

注意

設定の登録

各プリンタ設定を登録するためには、設定が終了後、**[ENTER]**キーを1回押してください。

設定が登録され、次の設定画面を表示します。



[ENTER]キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。

[CANCEL]キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

[FUNCTION]キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

[ENTER]キーを押すと、次の設定画面に変わります。

1. 調整内容表示

調整内容

PITCH	+0.00
OFFSET	+0.00
DARKNESS	50

本プリンタの調整内容を表示します。

- **[ENTER]**キーを押すと、次の設定画面に変わります。

PITCH	印字位置調整値を表示
OFFSET	ティアオフ・カット・ハクリ停止位置調整値を表示
DARKNESS	印字濃度の設定値を表示

2. 印字速度設定

印字速度

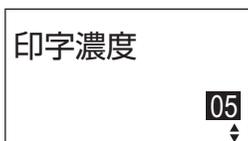
06 IPS
↓

印字速度を、SG608Rは9段階、SG612Rは7段階で設定ができます。

用紙または印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、印字速度を遅くしてください。

- **▲**・**▼**キーで設定値を変更します。
 - SG608Rの設定範囲は、02～10です。
 - SG612Rの設定範囲は、02～08です。
- **[ENTER]**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、06IPS（インチ/秒）です。

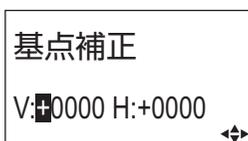
3. 印字濃度設定



印字の濃度（濃さ）を、10段階で設定できます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、01～10を選びます。
 - 01～10の数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。
印字濃度は、拡張設定の印字濃度レンジ（73ページ）との組合せになります。
01が一番薄く、10が一番濃くなります。
- [ENTER]キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、05です。

4. 印字位置補正設定



印字位置補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。本プリンタには、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するか設定します。

本プリンタでは印字基準位置から印字したい位置までの距離をdot単位で設定します。1dotの長さは機種によって違います。SG608Rは1dot = 0.125mm、SG612Rは1dot = 0.083mmです。

V：印字基準位置から、縦方向に何dot離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後

“-”：印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何dot離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：プリンタ正面に向かって左側

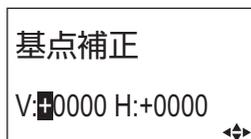
“-”：プリンタ正面に向かって右側

初期値は、縦印字位置補正は0dot、横印字位置補正は0dotになります。

⚠ 注意

- ヘッド密度により印字位置補正設定の範囲が異なりますのでご注意ください。
- SG608R：V ± 0000～1424dot H ± 0000～1340dot
- SG612R：V ± 0000～2136dot H ± 0000～2010dot

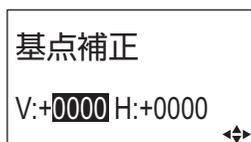
① V（縦方向）の移動方向の設定



「印字位置補正設定」画面がディスプレイに表示されると、カーソルが、V（縦方向）の“+”にあり、白黒反転しています。

- ▲・▼キーを1回押すたびに“+”と“-”に表示が変わります。
- ▶キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の数字に変わります。
- ◀キーを押すと、カーソルがH（横方向）の数字に変わります。

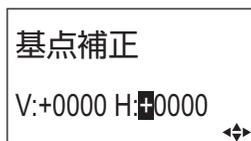
② V（縦方向）の移動 dot 数の設定



V（縦方向）の数字が白黒反転しています。

- ▲・▼キーを1回押すたびに数字が1つ増減します。
- ▶キーを押すと、カーソルがH（横方向）の“+”に変わります。
- ◀キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の“+”に変わります。

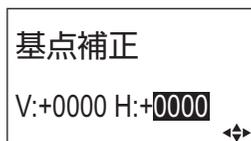
③ H（横方向）の移動方向の設定



H（横方向）の“+”が白黒反転しています。

- ▲・▼キーを1回押すたびに“+”と“-”に表示が変わります。
- ▶キーを押すと、カーソルがH（横方向）の数字に変わります。
- ◀キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の数字に変わります。

④ H（横方向）の移動 dot 数の設定



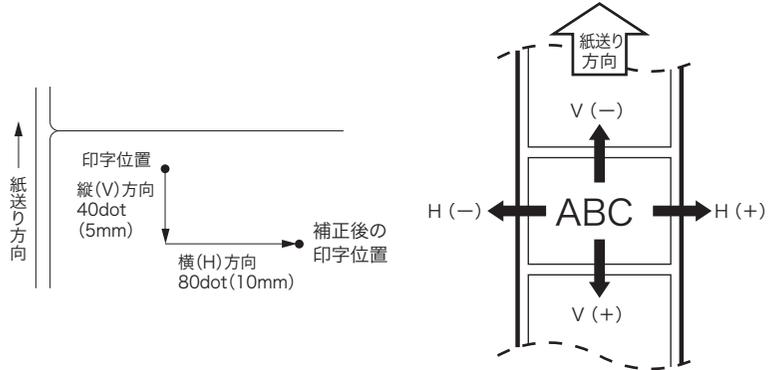
H（横方向）の数字が白黒反転しています。

- ▲・▼キーを1回押すたびに数字が1つ増減します。
- ▶キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の“+”に変わります。
- ◀キーを押すと、カーソルがH（横方向）の“+”に変わります。
- [ENTER]キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。

【印字位置補正の設定例】



SG608R で印字基準位置から
縦 (V) 方向に+ 40dot (5mm)
横 (H) 方向に+ 80dot (10mm)
離れた位置を基点とする設定例を示します。



ディスプレイに、印字位置補正設定画面が表示されていることを確認してください。

▲・▼・◀・▶キーで数字を設定し、**[ENTER]** キーで登録してください。

[ENTER] キーを 1 回押します。

ディスプレイの画面は、ゼロスラッシュ切替設定画面に変わります。

5. ゼロスラッシュ切替設定



ゼロ (漢字は除く) を “0” または、 “0” に設定します。
対象フォントは、X20 文字、X21 文字、X22 文字、X23 文字、X24 文字です。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・ “有効” は “0” になります。
 - ・ “無効” は “0” になります。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

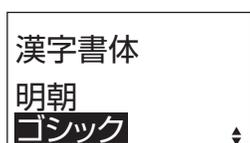
6. 文字コード切替設定



取り扱う文字コードを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“JIS”、“シフトJIS”、“Unicode”を選びます。
 - ・“JIS”は、JISコード指定になります。
 - ・“シフトJIS”は、シフトJISコード指定になります。
 - ・“Unicode”は、Unicode指定になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、JISです。

7. 漢字書体切替設定



印字する漢字書体を明朝体、ゴシック体に設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“明朝”、“ゴシック”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、ゴシックです。

8. プロポーショナルピッチ設定



プロポーショナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するかまたは文字幅を固定で印字するか）を設定します。

対象フォントは、X21文字、X22文字、X23文字、X24文字です。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、各文字ごとの横幅で印字します。
 - ・“無効”は、文字幅固定で印字します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、設定モードメニュー（48ページ）に戻ります。
- 初期値は、無効です。

これでプリンタ設定操作による、プリンタ設定が終了しました。プリンタ設定を終了するには、[CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押してください。

通信設定操作

設定モードメニューで、**▲**・**▼**・**◀**・**▶**キーを押して「通信設定」を選びます。



注意

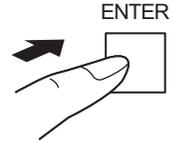
設定の登録

各通信設定を登録するためには、設定が終わった後、**ENTER**キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定画面を表示します。

ENTERキーを押さないかぎり、設定は登録されません。

CANCELキーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

FUNCTIONキーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。



ENTERキーを押すと、次の設定画面に変わります。

1. 簡易入力装置 Key-Bo (オプション) の設定

Key-Bo接続

有効 無効

簡易入力装置 Key-Bo の接続を設定します。

変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、簡易入力装置 Key-Bo から送信されるデータのみ有効になります。
 - ・“無効”は、簡易入力装置 Key-Bo からのデータは無効になります。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、有効です。

2. 通信設定の変更確認

通信設定

する **しない**

各種インタフェースの通信設定を変更するかしないかを選びます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“する”は、通信設定（ポート設定）画面（56 ページ）に変わります。
 - ・“しない”は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
- 初期値は、しないです。

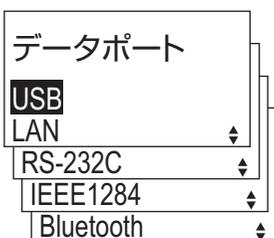
3. 通信設定（ポート設定）



通信設定をおこなうインタフェースポートを設定します。
本画面は通信設定で“する”に設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“データポート”、“サブポート”を選びます。
 - “データポート”は、送受信可能なポートです。
 - “サブポート”は、ステータス（プリンタの状態）をコンピュータなどに送信するポートです。
スキャナまたは、キーボードを選んだ場合は、スキャナやキーボードのデータを受信します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わり、選択したポートの設定をおこないます。
 - “データポート”は、データポート選択画面に変わります。
 - “サブポート”は、サブポート選択画面に変わります。
- 初期値は、データポートです。

4. データポート選択

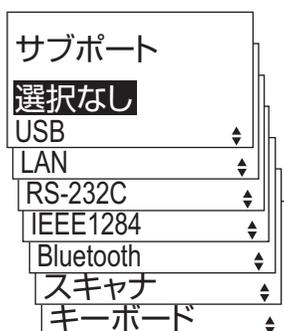


データポートとして使用するインタフェースを設定します。
本画面は通信設定（ポート設定）で“データポート”に設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、データポートを選びます。
- 下記のデータポートの中から選びます。
 - USB
 - LAN
 - RS-232C
 - IEEE1284
 - Bluetooth
- ※ サブポートで設定したインタフェースは、データポートで選択できません。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - “USB”は、USB設定画面（58ページ）に変わります。
 - “RS-232C”は、RS-232C設定画面（59ページ）に変わります。
 - “IEEE1284”は、IEEE1284設定画面（62ページ）に変わります。
 - “LAN”は、LAN設定画面（64ページ）に変わります。
 - “Bluetooth”は、Bluetooth設定画面（68ページ）に変わります。
- 初期値は、USBです。

本設定と異なるポートから印字データを受信した場合は、印字しません。

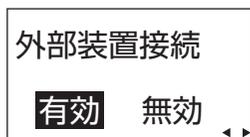
5. サポート選択



サポートとして使用するインタフェースを設定します。
本画面は通信設定（ポート設定）で“サポート”に設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、サポートを選びます。
- 下記のサポートの中から選びます。
 - ・ 選択なし
 - ・ USB
 - ・ LAN
 - ・ RS-232C
 - ・ IEEE1284
 - ・ Bluetooth
 - ・ スキャナ
 - ・ キーボード
- ※ データポートで設定したインタフェースは、サポートで選択できません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ※ USB、RS-232C、IEEE1284、LAN、Bluetooth を選んだ場合各インタフェースの設定後、外部装置接続設定画面に変わります。
 - ・ “USB” は、USB 設定画面（58 ページ）に変わります。
 - ・ “RS-232C” は、RS-232C 設定画面（59 ページ）に変わります。
 - ・ “IEEE1284” は、IEEE1284 設定画面（62 ページ）に変わります。
 - ・ “LAN” は、LAN 設定画面（64 ページ）に変わります。
 - ・ “Bluetooth” は、Bluetooth 設定画面（68 ページ）に変わります。
 - ・ “選択なし”、“スキャナ”、“キーボード” は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
- 初期値は、選択なしです。

6. 外部装置接続設定



サポートと外部装置の接続を設定します。
本画面は“サポート”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・ “有効” は、外部装置と接続します。
 - ・ “無効” は、外部装置からのデータは無効になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
- 初期値は、有効です。

[USB インタフェースの場合]

1. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、“STATUS4”、“STATUS5”を選びます。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“STATUS4”は、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57ページ）に変わります。
 - ・“STATUS5”は、アイテム No. チェック設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4です。

2. アイテム No. チェック設定



アイテム No. チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

3. BCC チェック設定



BCC チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57ページ）に変わります。
- 初期値は、無効です。

【RS-232C インタフェースの場合】

1. 通信レート設定

通信レート	
9600	19200
38400	57600
115200	2400
4800	

ボーレートを設定します。

- ▲・▼・◀・▶キーでカーソルを移動し、ボーレートを
選びます。
- 下記のボーレートの中から選びます。
 - ・2400bps
 - ・4800bps
 - ・9600bps
 - ・19200bps
 - ・38400bps
 - ・57600bps
 - ・115200bps
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に
変わります。
- 初期値は、19200 です。

2. パリティビット設定

パリティビット
NONE
ODD
EVEN

パリティビットを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、パリティビットを選
びます。
- 下記のパリティビットの中から選びます。
 - ・NONE
 - ・ODD
 - ・EVEN
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に
変わります。
- 初期値は、NONE です。

3. ストップビット設定

ストップビット
1BIT
2BIT

ストップビットを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“1BIT”、“2BIT” を選
びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に
変わります。
- 初期値は、1BIT です。

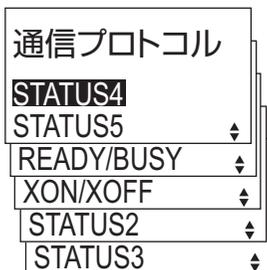
4. データ長設定



データ長を設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“7BIT”、“8BIT”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、8BIT です。

5. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選びます。
- 下記の通信プロトコルの中から選択します。
 - ・ READY/BUSY
 - ・ XON/XOFF
 - ・ STATUS2
 - ・ STATUS3
 - ・ STATUS4
 - ・ STATUS5
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・ “STATUS3” または “STATUS4” は、次の画面に変わります。
 - ・ データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
 - ・ サポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57 ページ）に変わります。
 - ・ “STATUS5” は、アイテム No. チェック設定画面に変わります。
 - ・ “READY/BUSY” または “XON/XOFF” は、受信バッファ設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

6. アイテム No. チェック設定



アイテム No. チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・ “有効” は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - ・ “無効” は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

7. BCC チェック設定

BCCチェック

有効 **無効** ◀▶

BCC チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57 ページ）に変わります。
- 初期値は、無効です。

8. 受信バッファ設定

受信バッファ

マルチ
1アイテム ▼

受信バッファタイプを設定します。

本画面は通信プロトコルで“READY/BUSY”または“XON/XOFF”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“マルチ”、“1アイテム”を選びます。
 - ・“マルチ”は、受信バッファニアフルまで受信するモードです。
 - ・“1アイテム”は、1アイテムごとに受信するモードです。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57 ページ）に変わります。
- 初期値は、マルチです。

【IEEE1284 インタフェースの場合】

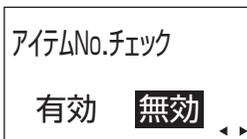
1. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼ キーでカーソルを移動し、“STATUS4”、“STATUS5” を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - “STATUS4” は、受信バッファ設定画面に変わります。
 - “STATUS5” は、アイテム No. チェック設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

2. アイテム No. チェック設定

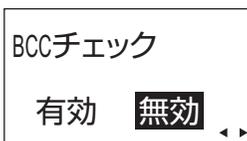


アイテム No. チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで “STATUS5” を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

3. BCC チェック設定



BCC チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで “STATUS5” を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶ キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、BCC チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、BCC チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
 - サポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57 ページ）に変わります。
- 初期値は、無効です。

4. 受信バッファ設定



受信バッファタイプを設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS4”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“マルチ”、“1アイテム”を選びます。
 - ・“マルチ”は、受信バッファニアフルまで受信するモードです。
 - ・“1アイテム”は、1アイテムごとに受信するモードです。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“1アイテム”は、IEEE1284 ACK 信号幅設定画面に変わります。
 - ・“マルチ”は、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57ページ）に変わります。
- 初期値は、マルチです。

5. IEEE1284 ACK 信号幅設定



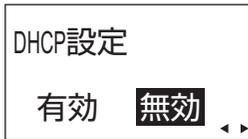
IEEE1284 通信のACK 信号幅を設定します。

本画面は受信バッファで“1アイテム”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、00.5～12.0です。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57ページ）に変わります。
- 初期値は、00.5 μ sです。

【LAN インタフェースの場合】

1. DHCP 設定



DHCP設定
有効 無効

DHCP を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、DHCP サーバーより IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動取得します。
 - ・“無効” は、手入力で IP アドレスを設定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

2. RARP 設定

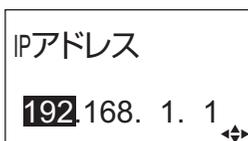


RARP設定
有効 無効

RARP を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、RARP サーバーより IP アドレスを自動取得します。
 - ・“無効” は、手入力で IP アドレスを設定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効” は、サブネットマスク設定画面に変わります。
 - ・“無効” は、次の設定画面に変わります。
 - DHCP 設定 “有効” は、ポート番号 1 設定画面に変わります。
 - DHCP 設定 “無効” は、IP アドレス設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

3. IP アドレス設定



IPアドレス
192.168.1.1

IP アドレスを設定します。

本画面は DHCP 設定で “無効” を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、192.168.1.1 です。

4. サブネットマスク設定

サブネットマスク

255.255.255.0

サブネットマスクを設定します。
本画面は DHCP 設定で“無効”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、255.255.255.0 です。

5. ゲートウェイアドレス設定

ゲートウェイアドレス

0.0.0.0

ゲートウェイアドレスを設定します。
本画面は DHCP 設定で“無効”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・LAN インタフェースの場合、ポート番号 1 設定画面に変わります。
- 初期値は、0.0.0.0 です。

6. ポート番号 1 設定

ポート番号 1

01024

ポート番号 1 を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、00000～65535 です。
 - ・ポート番号 2、3 と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、01024 です。

7. ポート番号 2 設定

ポート番号2

01025

ポート番号 2 を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、00000～65535 です。
 - ・ポート番号 1、3 と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、01025 です。

8. ポート番号 3 設定

ポート番号3

09100

ポート番号 3 を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、00000～65535 です。
 - ・ポート番号 1、2 と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、09100 です。

9. 通信プロトコル設定

通信プロトコル

STATUS4

STATUS5

STATUS3

通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選びます。
- 下記の通信プロトコルの中から選びます。
 - ・STATUS3
 - ・STATUS4
 - ・STATUS5
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“STATUS4” は、プリンタステータス返送タイミング設定画面に変わります。
 - ・“STATUS5” は、アイテム No. チェック設定画面に変わります。
 - ・“STATUS3” は、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57 ページ）に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

10. アイテム No. チェック設定



アイテム No. チェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

11. BCC チェック設定



BCC チェック機能を設定します。
本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57 ページ）に変わります。
- 初期値は、無効です。

12. プリンタステータス返送タイミング設定

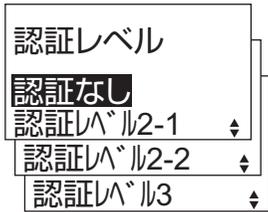


ステータス情報をホストに返送するタイミングを設定します。
本画面は、通信プロトコルで“STATUS4”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“ENQ”、“周期”を選びます。
 - ・“ENQ”は、コンピュータからステータス要求 (ENQ) 受信により返送します。
 - ・“周期”は、500ms 間隔でプリンタよりコンピュータにステータスを返送します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（57 ページ）に変わります。
- 初期値は、ENQ です。

【Bluetooth インタフェースの場合】

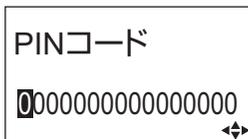
1. 認証レベル設定



認証レベルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、認証レベルを選びます。
- 下記の認証レベルの中から選びます。
 - ・ 認証なし
 - ・ 認証レベル 2-1
 - ・ 認証レベル 2-2
 - ・ 認証レベル 3
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、認証なしです。

2. PIN コード設定



PIN コードを設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで入力します。
 - ・ 入力できる PIN コードは、1～16文字までの英字（大文字、小文字）、数字、記号です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“0000000000000000”です。

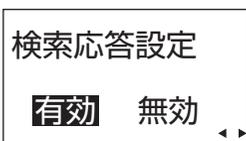
3. デバイス名設定



デバイス名を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで入力します。
 - ・ 入力できるデバイス名は、1～20文字までの英字（大文字、小文字）、数字、記号です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、SATO PRINTERです。

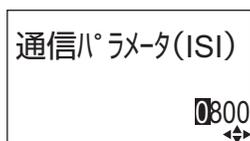
4. 検索応答設定



検索応答を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、検索応答の設定を有効にします。
 - ・“無効” は、検索応答の設定を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効” の場合、通信パラメータ (ISI) 設定画面に変わります。
 - ・“無効” の場合、通信パラメータ (PSI) 設定画面 (70 ページ) に変わります。
- 初期値は、有効です。

5. 通信パラメータ (ISI) 設定

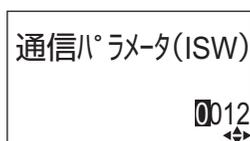


通信パラメータ (ISI) を設定します。

本画面は、検索応答の設定画面で、“有効” を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、0012 ~ 1000 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0800 です。

6. 通信パラメータ (ISW) 設定



通信パラメータ (ISW) を設定します。

本画面は、検索応答の設定画面で、“有効” を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、0011 ~ 0997 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0012 です。

7. 通信パラメータ (PSI)

通信パラメータ(PSI)

0800

通信パラメータ (PSI) を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、0012 ~ 1000 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0800 です。

8. 通信パラメータ (PSW)

通信パラメータ(PSW)

0012

通信パラメータ (PSW) を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、0011 ~ 0997 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0012 です。

9. 通信プロトコル設定

通信プロトコル

STATUS3

STATUS4

通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選びます。
- 下記の通信プロトコルの中から選びます。
 - ・STATUS3
 - ・STATUS4
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

10. CRC チェック設定

CRCチェック

有効 無効

CRC チェック機能を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、CRC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効” は、CRC チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (48 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (57 ページ) に変わります。
- 初期値は、無効です。

メモ리카ードモード

設定モードメニューで、・・・キーを押して「メモ리카ードモード」を選びます。

[ENTER] キーを押すとディスプレイが次のように表示します。



1. メモ리카ード選択



初期化するメモ리카ードを選びます。

- ・キーでカーソルを移動し、“SD カード”、“USB メモリ”を選びます。
 - ・“SD カード”は、SD カード*¹を初期化します。
 - ・“USB メモリ”は、USB メモリ*²を初期化します。
- **[ENTER]** キーを押すと次の画面に変わります。
- 初期値は、SD カードです。

*1 SD カードは、サトー純正品のご使用をお願いします。

*2 USB メモリのご使用については、オプション (99 ページ) をご覧ください。

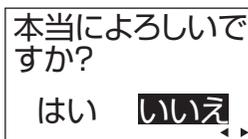
2. メモ리카ード初期化設定



メモ리카ード選択にて選んだメモリの登録領域を初期化します。

- ・キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
- **[ENTER]** キーを押すと次の画面に変わります。
 - ・“する”は、初期化開始確認画面に変わります。
 - ・“しない”は、設定モードメニュー (48 ページ) に変わります。
- 初期値は、しないです。

3. 初期化開始確認

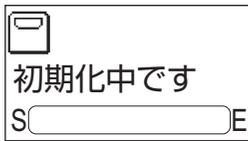


メモリの初期化開始確認画面です。

初期化を開始すると、お客様が登録されたデータはすべてクリアされます。

- ・キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- **[ENTER]** キーを押すと次の画面に変わります。
 - ・“はい”は、初期化を開始して初期化中画面 (72 ページ) に変わります。
 - ・“いいえ”は、メモ리카ード初期化設定画面に変わります。
- 初期値は、いいえです。

4. 初期化中画面



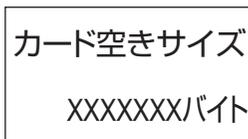
メモリの登録領域初期化中の画面です。
初期化終了後、次の画面に変わります。

5. 初期化完了画面



初期化が完了した際に表示します。
[ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

6. メモリカード空きサイズ画面



メモリカード空きサイズを表示します。
[ENTER] キーを押すと、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。

拡張設定

設定モードメニューで、**▲**・**▼**・**◀**・**▶**キーを押して「拡張設定」を選びます。



注意

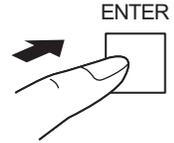
設定の登録

各拡張設定を登録するためには、設定が終わった後、**ENTER**キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定画面を表示します。

ENTERキーを押さないかぎり、設定は登録されません。

CANCELキーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

FUNCTIONキーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。



ENTERキーを押すと、次の設定画面に変わります。

1. 濃度レンジ設定

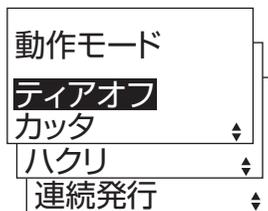


印字の濃度レンジを設定します。
基本的には変更不要です。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、Aを選びます。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、Aです。

A以外を選ぶとエラーになりブザーが鳴ります。

2. 動作モード設定

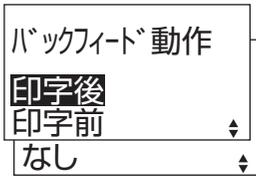


動作モードを設定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、動作モード（85ページ）を選びます。
- 下記の動作モードの中から選びます。
 - ・ティアオフ ・カッタ
 - ・ハクリ ・連続発行
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“連続発行”、“ティアオフ”は、印字方式設定画面（74ページ）に変わります。
 - ・“カッタ”、“ハクリ”は、バックフィード動作設定画面（74ページ）に変わります。
- 初期値は、ティアオフです。

カッタおよびハクリは、オプションの装着状態によって表示しない場合があります。

3. バックフィード動作設定



バックフィード動作を設定します。

本画面は動作モード設定画面（73 ページ）にて“カッタ”、“ハクリ”を設定したときのみ表示します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、バックフィード動作を選びます。
- 下記のバックフィード動作の中から選びます。
 - ・“印字後”は、動作 1（印字後バックフィード）に設定します。
 - ・“印字前”は、動作 2（印字前バックフィード）に設定します。
 - ・“なし”は、バックフィードなしに設定します。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、印字後です。

4. 印字方式設定



印字方式の設定画面です。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、“熱転写”、“感熱”を選びます。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、熱転写です。

5. ピッチセンサ設定



用紙センサ機能の有効、無効を設定します。

本画面は、動作モード設定画面（73 ページ）にて、“カッタ”、“連続発行”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、ピッチセンサ（用紙センサ）機能が有効になります。
 - ・“無効”は、ピッチセンサ（用紙センサ）機能が無効になります。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効”は、用紙センサ種設定画面に変わります。
 - ・“無効”は、コマンドエラー表示設定画面に変わります。
- 初期値は、有効です。

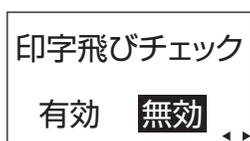
6. 用紙センサ種設定



使用する用紙センサ種を設定します。
本画面はピッチセンサ設定が“有効”のときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、用紙センサ種を選びます。
 - ・“反射”は、反射センサに設定します。
 - ・“透過”は、透過センサに設定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、反射です。

7. 印字飛びチェック設定

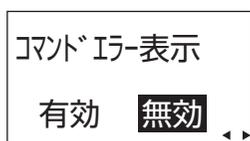


印字飛びチェック機能の有効、無効を設定します。
本画面はピッチセンサ設定が“有効”のときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、印字飛びチェックを有効にします。
 - ・“無効”は、印字飛びチェックを無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

指定した縦方向の用紙サイズより大きな値の印字データを設定した場合、印字飛びエラーになります。

8. コマンドエラー表示設定



コマンドエラー表示機能の有効、無効を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、コマンドエラー画面（93 ページ）を表示して発行動作を停止します。
 - ・“無効”は、コマンドエラーアイコン（43 ページ）を表示して発行動作を継続します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

有効範囲外のパラメータが設定されるとコマンドエラーになります。

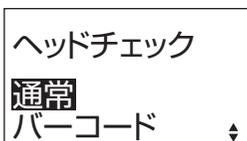
9. ヘッドチェック設定



ヘッドチェック機能の有効、無効を設定します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、ヘッドチェック機能を有効にします。
 - “無効” は、ヘッドチェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
 - “有効” は、ヘッドチェック範囲設定画面に変わります。
 - “無効” は、外部信号設定画面 (78 ページ) に変わります。
- 初期値は、有効です。

10. ヘッドチェック範囲設定



ヘッドチェックをおこなう範囲を設定します。

本画面は、ヘッドチェック設定で“有効”を設定したときのみ表示します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、“通常”、“バーコード” を選びます。
 - “通常” は、印字領域をチェックします。
 - “バーコード” は、バーコード印字領域のみをチェックします。バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、ヘッドチェックされません。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、通常です。

◆ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。
 (印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります)
 ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読取りをおこなって確認してください。

<ヘッドエラー発生時の対処方法>

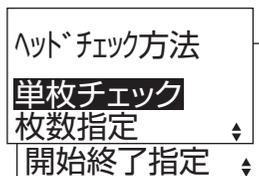
①ヘッドチェック範囲設定が通常の場合

- **[FEED]** キーを 5 秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面を表示します。
 - ・通常を選ぶと、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面を表示します。
 - ・バーコードを選ぶと、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
- **[LINE]** キーと **[FEED]** キーを同時に 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

②ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合

- **[LINE]** キーと **[FEED]** キーを同時に 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

11. ヘッドチェック方法

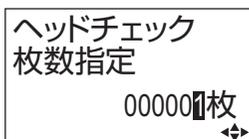


ヘッドチェック方法を設定します。

本画面は、ヘッドチェック設定で“有効”を設定したときのみ表示します。

- **[▲]**・**[▼]**キーでカーソルを移動し、ヘッドチェック方法を選びます。
 - ・“単枚チェック”は、1 枚ごとにヘッドチェックします。
 - ・“枚数指定”は、ヘッドチェック枚数指定で設定した枚数ごとにヘッドチェックします。
 - ・“開始終了指定”は、印字開始前と印字停止やバックフィード時にヘッドチェックをおこないます。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“単枚チェック”、“開始終了指定”は、外部信号設定画面(78 ページ)に変わります。
 - ・“枚数指定”は、ヘッドチェック枚数指定画面(78 ページ)に変わります。
- 初期値は、単枚チェックです。

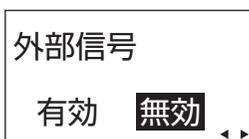
12. ヘッドチェック枚数指定



何枚ごとにヘッドチェックをおこなうかを設定します。
本画面は、ヘッドチェック方法で“枚数指定”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、000001～999999です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、000001です。

13. 外部信号設定



外部信号の入出力有無を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、入出力を許可します。
 - ・“無効”は、入出力を禁止します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効”は、外部信号出力タイプ設定画面に変わります。
 - ・“無効”は、オートオンライン設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

14. 外部信号 (PREND) 出力タイプ設定



外部信号 (PREND) の出力タイプを設定します。
本画面は、外部信号設定で“有効”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、外部信号出力タイプを選びます。
 - 下記の出力動作モードの中から選びます。
 - ・TYPE1
 - ・TYPE2
 - ・TYPE3
 - ・TYPE4
 - [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - 初期値は、TYPE4です。
- ※ 詳細は、付属のアクセサリ CD-ROM の SBPL プログラミングガイドをご覧ください。

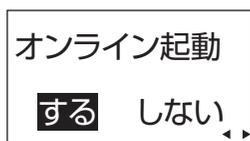
15. 再発行信号設定



外部信号 7 ピンの入力による再発行機能を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、再発行を許可します。
 - ・“無効” は、再発行を禁止します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

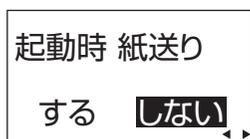
16. オートオンライン設定



電源投入時のプリンタの状態を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない” を選びます。
 - ・“する” は、電源投入時にオンライン状態で起動します。
 - ・“しない” は、電源投入時にオフライン状態で起動します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、するです。

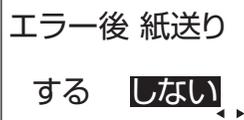
17. 初期フィード設定



プリンタ起動後のオンライン時に自動で用紙フィードをおこないます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない” を選びます。
 - ・“する” は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードをおこないます。
 - ・“しない” は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードをおこないません。ただし、オンラインフィード設定画面（80 ページ）で、“する” に設定した場合、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードをおこないます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、しないです。

18. オンラインフィード設定



オンライン状態に移行したとき、自動で用紙フィードをおこないません。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
 - ・“する”は、オンライン状態に移行したとき、用紙フィードをおこないます。
 - ・“しない”は、オンライン状態に移行したとき、用紙フィードをおこないません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、しないです。

19. 言語選択の設定



操作パネルの表示言語を設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“ENGLISH”、“日本語”を選びます。
 - ・“ENGLISH”は、ディスプレイ表示が英語になります。
 - ・“日本語”は、ディスプレイ表示が日本語になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、日本語です。

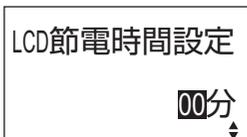
20. プロトコルコード設定



プロトコルコードのコード設定をします。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“STANDARD”、“NON-STANDARD”を選びます。
 - ・“STANDARD”は、スタンダードコードになります。
 - ・“NON-STANDARD”は、ノンスタンダードコードになります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STANDARD です。

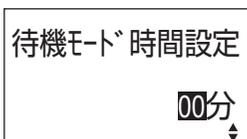
21. LCD 節電時間設定



一定時間操作がおこなわれない状態が続いたときに LCD バックライトを消灯して消費電力を節減します。

- ▲・▼キーで LCD 消灯時間を設定します。
 - ・設定範囲は、“00”～“15”です。
 - ・00 の場合、LCD バックライトは常時点灯します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ※ 通常動作する場合、いずれかのキーを押すとバックライトが点灯します。
- 初期値は、00 です。

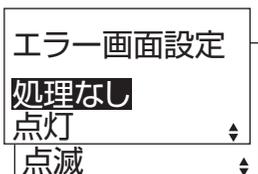
22. 待機モード時間設定



一定時間操作がおこなわれない状態が続いたとき、プリンタの電源が切れます。

- ▲・▼キーで待機モードの時間を設定します。
 - ・設定範囲は、“00”～“15”です。
 - ・00 の場合、常時、電源が入っている状態になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ※ 通常動作する場合、電源を切って、電源を入れてください。
- 初期値は、00 です。

23. エラー画面設定



本プリンタにてエラーが発生したときの LCD バックライトの点灯状態を設定します。

- ▲・▼キーでエラー画面を設定します。
 - ・“処理なし”は、通常画面と同じです。
 - ・“点灯”は、エラー発生後、バックライト色が橙色で点灯します。
 - ・“点滅”は、エラー発生後、バックライト色が橙色で点滅します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。
- 初期値は、処理なしです。

HEX ダンプ印字操作

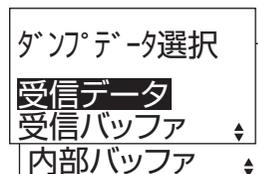
設定モードメニューで、▲・▼・◀・▶キーを押して「HEX ダンプ印字」を選びます。

[ENTER] キーを押すとディスプレイに次のように表示します。



1. ダンプデータ選択画面

ダンプ印字するデータを選びます。

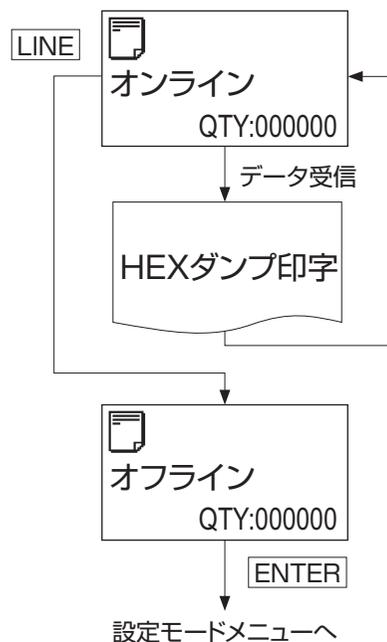


- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ダンプデータを選びます。
- 下記のダンプデータから選びます。
 - ・ “受信データ” は、受信したデータをダンプ印字します。
 - ・ “受信バッファ” は、受信済みの印字データ（1 アイテム分）をダンプ印字します。
 - ・ “内部バッファ” は、内部バッファの設定値を印字します。
- [ENTER] キーを押すと次の設定画面に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと設定モードメニュー（48 ページ）に変わります。

※ 受信データが無い場合は “受信バッファ” は選択できません。

【受信データの場合】

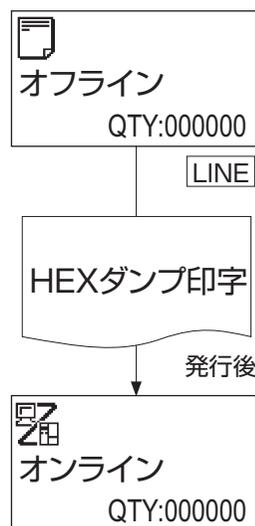
HEX ダンプ印字後、[LINE] キーを押して、オフライン状態にし、[ENTER] キーを押すと設定モードメニュー（48 ページ）に戻ります。



【受信バッファおよび内部バッファの場合】

[LINE] キーを押すと HEX ダンプ印字をおこないます。

発行後、自動でオンライン状態に戻ります。



テスト印字モード操作

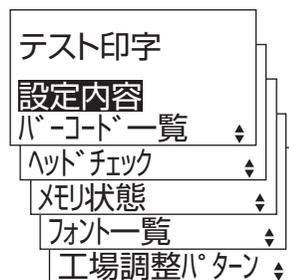
テスト印字をしてみましょう。
 プリンタの電源が入っていたら、電源を切ってください。
 [FEED] キーを押しながら電源を入れます。
 ディスプレイに次のように表示します。



1. テスト印字パターン選択

テスト印字パターンを選びます。

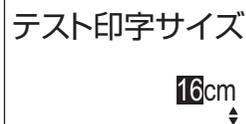
- [▲]・[▼]キーでカーソルを移動し、テスト印字パターンを選びます。
- 下表のテスト印字をおこないます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。



テスト印字パターン	印字内容	選択後の移動先
[設定内容]	本プリンタの設定内容を印字します。	テスト印字 サイズ選択①
[バーコード一覧]	本プリンタに搭載しているバーコードを印字します。	
[ヘッドチェック]	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。	
[メモリ状態]	本プリンタに搭載しているメモリ内容を印字します。	印字位置 オフセット位置 濃度調整
[フォント一覧]	本プリンタに搭載しているフォント内容を印字します。	
[工場調整パターン]	工場テスト印字をおこないます。	テスト印字 サイズ選択②

2. テスト印字サイズ選択①

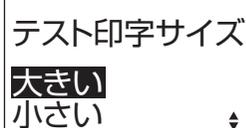
テスト印字の用紙サイズ幅を選びます。
本画面はテスト印字項目で「設定内容」、「バーコード一覧」、
「ヘッドチェック」を設定したときのみ表示します。



- ▲・▼キーでテスト印字サイズを設定します。
 - ・設定範囲は、「05」～「16」です。
- [ENTER] キーを押すと、印字位置、オフセット位置、濃度調整画面に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面に変わります。
- 初期値は、16 です。

3. テスト印字サイズ選択②

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。
本画面はテスト印字項目で「工場調整パターン」を設定したときのみ表示します。



- ▲・▼キーでカーソルを移動し、「大きい」、「小さい」を選びます。
 - ・「大きい」は、16cm 幅のラベルサイズで印字します。
 - ・「小さい」は、5cm 幅のラベルサイズで印字します。
- [ENTER] キーを押すと、印字位置、オフセット位置、濃度調整画面に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面に変わります。
- 初期値は、大きいです。

4. 印字位置、オフセット位置、濃度調整

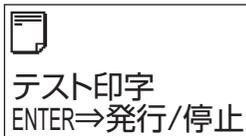
印字位置、オフセット位置（ティアオフ位置、カット位置、ハクリ停止位置）、濃度を調整します。



- ◀・▶キーで、「印字位置調整」、「オフセット調整」、「濃度調整」を切替えます。
 - ・「印字位置」は、印字位置を調整します。
 - ・「オフセット位置」は、ティアオフ位置、カット位置、ハクリ停止位置を調整します。
 - ・「濃度」は、印字濃度を調整します。
- ▲キーを押した場合
 - ・印字位置、オフセット位置は、押すたびに数字が 0.25 上がります。
 - ・濃度は、押すたびに数字が 1 上がります。
- ▼キーを押した場合
 - ・「印字位置、オフセット位置は、押すたびに数字が 0.25 下がります。
 - ・濃度は、押すたびに数字が下がります。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、テスト印字発行画面に変わります。
- 印字位置、オフセット位置の設定範囲は、-3.75 ～ +3.75 です。
- 濃度調整の設定範囲は、1 ～ 99 です。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面（83 ページ）に変わります。

5. テスト印字発行

テスト印字を開始します。



- [ENTER] キーを押すとテスト印字の発行を停止し、「印字位置、オフセット位置、濃度調整」画面に戻ります。

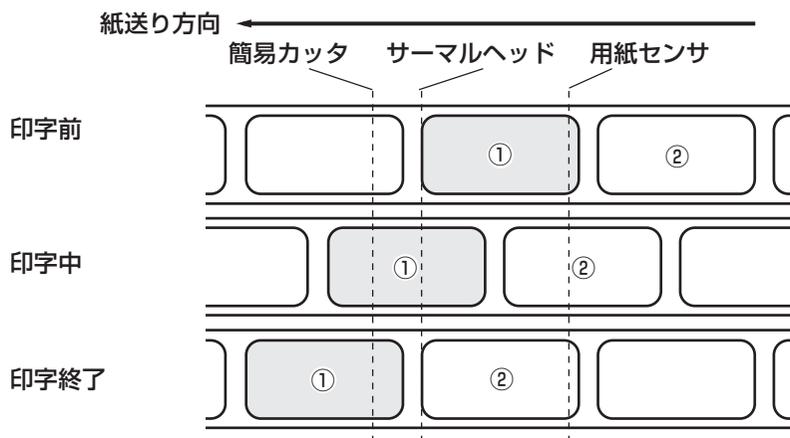
※ テスト印字モードを終了するには、発行を停止した後プリンタの電源を切ってください。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、カッタ（オプション）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、または、1枚フィードのときは、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。

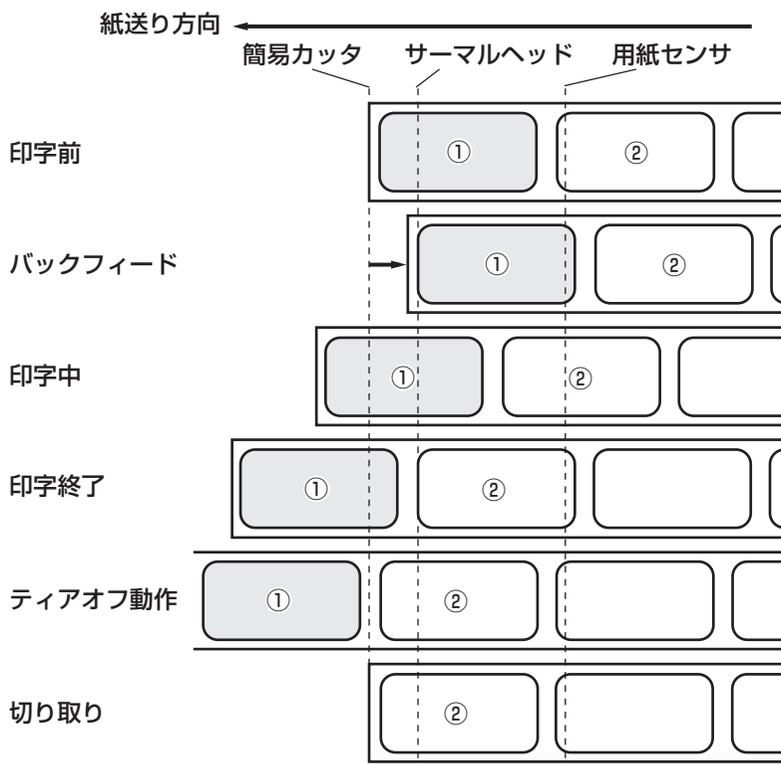


ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。

この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切ることができます。

または、次の印字をおこなうときには、用紙の先端がサーマルヘッド位置まで戻り、印字を開始します。



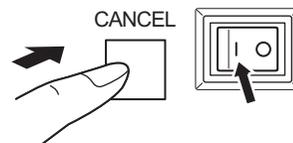
10 初期値設定

❗ ご注意！

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期値とは、本プリンタがはじめから記憶している設定値です。この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本プリンタが記憶している設定値（88～89ページ）に戻します。プリンタの電源が入っていたら、電源を切ってください。

[CANCEL] キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイに次のように表示します。



1. 初期化項目選択

初期化するデータを選びます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“プリンタ設定”、“プロトコルコード”を選びます。
 - ・“プリンタ設定”は、プリンタ設定を初期化します。
 - ・“プロトコルコード”は、プロトコルコードを初期化します。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の画面に変わります。

設定初期化

プリンタ設定
プロトコルコード

2. 設定の初期化

【プリンタ設定の場合】

プリンタの設定を初期化します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の画面に変わります。
 - ・“はい”は、プリンタ設定情報を初期化し、次の画面に変わります。
 - ・“いいえ”は、初期化項目選択画面に戻ります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと初期化項目選択画面に変わります。

プリンタ設定を
初期化しますか？

はい いいえ

【プロトコルコードの場合】

プロトコルコードを初期化します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の画面に変わります。
 - ・“はい”は、プロトコルコードを初期化し、次の画面に変わります。
 - ・“いいえ”は、初期化項目選択画面に戻ります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと初期化項目選択画面に変わります。

プロトコルコードを
初期化しますか？

はい いいえ

3. 初期化完了画面

プリンタ設定／プロトコルコード初期化完了画面です。

初期値設定を終了するにはプリンタの電源を切ってください。

設定情報を
初期化しました。

電源再投入

初期設定値一覧

プリンタ設定、通信設定、拡張設定の各設定値が次の初期値に戻ります。

設定項目	初期値	参照ページ
プリンタ設定		
印字速度	6IPS (インチ / 秒)	50
印字濃度	5	51
基点補正	V:+0000 H:+0000	51
ゼロスラッシュ	無効	53
文字コード	JIS	54
漢字書体	ゴシック	54
プロポーショナルピッチ	無効	54
通信設定		
Key-Bo 接続	有効	55
通信設定	しない	55
通信設定 (ポート設定)	データポート	56
USB		
通信プロトコル	STATUS4	58
アイテム No. チェック (STATUS5)	無効	58
BCC チェック (STATUS5)	無効	58
RS-232C		
通信レート	19200	59
パリティビット	NONE	59
ストップビット	1BIT	59
データ長	8BIT	60
通信プロトコル	STATUS4	60
アイテム No. チェック (STATUS5)	無効	60
BCC チェック (STATUS5)	無効	61
受信バッファ (READY/BUSY、XON/XOFF)	マルチ	61
IEEE1284		
通信プロトコル	STATUS4	62
アイテム No. チェック	無効	62
BCC チェック	無効	62
受信バッファ	マルチ	63
IEEE1284 ACK 信号幅	00.5 μ s	63

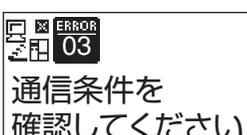
設定項目	初期値	参照 ページ
通信設定		
LAN		
DHCP 設定	無効	64
RARP 設定	無効	64
IP アドレス	192.168.1.1	64
サブネットマスク	255.255.255.0	65
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0	65
ポート番号 1	01024	65
ポート番号 2	01025	66
ポート番号 3	09100	66
通信プロトコル	STATUS4	66
アイテム No. チェック (STATUS5)	無効	67
BCC チェック (STATUS5)	無効	67
プリンタステータス返送タイミング (STATUS4)	ENQ	67
Bluetooth		
認証レベル	認証なし	68
PIN コード	0000000000000000	68
デバイス名	SATO PRINTER	68
検索応答設定	有効	69
通信パラメータ (ISI) (検索応答：有効)	0800	69
通信パラメータ (ISW) (検索応答：有効)	0012	69
通信パラメータ (PSI)	0800	70
通信パラメータ (PSW)	0012	70
通信プロトコル	STATUS4	70
CRC チェック	無効	70
拡張設定		
濃度レンジ	A	73
動作モード	ティアオフ*	73
バックフィード動作	印字後	74
印字方式	熱転写	74
ピッチセンサ	有効	74
センサタイプ	反射	75
印字飛びチェック	無効	75
コマンドエラー表示	無効	75
ヘッドチェック	有効	76
外部信号	無効	78
オートオンライン	する	79
初期フィード	しない	79
オンラインフィード	しない	80
言語選択	日本語	80
プロトコルコード	STANDARD	80
LCD 節電時間設定	00 分	81
待機モード時間設定	00 分	81
エラー画面設定	処理なし	81

* 標準仕様の場合です。

11 あれ？ どうしたのかな

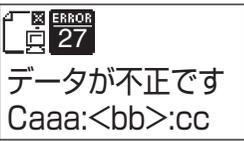
ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本プリンタはエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本プリンタの操作をして、うまくいかなかったときはこの章をお読みください。

▲エラーメッセージがでたけれど

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
01		<p>マシンエラーの画面です。</p> <p>原因：①基板の不良です。</p> <p>対策：①販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：長音 1 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
02		<p>ROM エラーの画面です。</p> <p>原因：①ROM にアクセスできません。 ②書込み回数がオーバーしています。</p> <p>対策：①② 販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：長音 1 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
03		<p>パリティエラーの画面です。</p> <p>原因：① RS-232C の通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。</p> <p>対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルを正しく接続してください。</p> <p>警告音：短音 3 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
04		<p>オーバーランエラーの画面です。</p> <p>原因：① RS-232C の通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。</p> <p>対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルを正しく接続してください。</p> <p>警告音：短音 3 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
05		<p>フレーミングエラーの画面です。</p> <p>原因：① RS-232C の通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。</p> <p>対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルを正しく接続してください。</p> <p>警告音：短音 3 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
06		<p>バッファオーバーの画面です。</p> <p>原因：①受信バッファを越えるデータを受信しました。 ②通信プロトコルが合っていません。</p> <p>対策：①②通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。</p> <p>警告音：短音 3 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
07		<p>ヘッドオープンの画面です。</p> <p>原因：①ヘッド部がロックされていません。 ②ヘッド開閉検知用マイクロスイッチの異常です。</p> <p>対策：①ヘッド部をロックしてください。 ②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
08		<p>ペーパーエンドの画面です。</p> <p>原因：①用紙がありません。 ②用紙が正しくセットされていません。</p> <p>対策：①②用紙を正しくセットしてください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：ペーパーエンド</p>
09		<p>リボンエンドの画面です。</p> <p>原因：①カーボンリボンがありません。 ②カーボンリボンが切れています。</p> <p>対策：①②カーボンリボンを正しくセットしてください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：リボンエンド</p>
10		<p>センサエラーの画面です。</p> <p>原因：①用紙センサのレベルが合っていません。 ②センサ種の設定が合っていません。 ③用紙蛇行(用紙位置のセットが正しくありません)</p> <p>対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 ②用紙に合ったセンサを使用してください。 ③用紙を正しくセットしてください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
11		<p>ヘッドエラーの画面です。</p> <p>原因：①サーマルヘッドに異常があります。</p> <p>対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>
12		<p>SD カードまたは USB メモリ書込みエラーの画面です。</p> <p>原因：① SD カードまたは USB メモリが挿入されていません。 ② SD カードまたは USB メモリの容量が不足しています。 ③ 書込みに失敗しました。 ④ SD カードまたは USB メモリがフォーマットされていません。</p> <p>対策：① SD カードまたは USB メモリを SD カードまたは USB メモリスロットに挿入してください。 ② SD カードまたは USB メモリの不要なデータを削除してください。 ③ SD カードまたは USB メモリを交換してください。 ④ SD カードまたは USB メモリをプリンタで初期化してください。</p> <p>警告音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
13	 <p>メモリの空き容量がありません</p>	<p>SD カードまたは USB メモリの容量不足の画面です。</p> <p>原因：①SD カードまたは USB メモリの容量が不足しています。</p> <p>対策：①SD カードまたは USB メモリの不要なデータを削除してください。</p> <p>警告音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>
14	 <p>DOWNLOAD DATA ERROR</p>	<p>ダウンロードデータエラーの画面です。</p> <p>原因：①不正なダウンロードデータを受信しました。 ②ダウンロード領域がありません。</p> <p>対策：①ダウンロードデータを確認してください。 ②ダウンロードデータサイズを確認してください。</p> <p>警告音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>
15	 <p>用紙が切れませんでした</p>	<p>カッタエラーの画面です。</p> <p>原因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しています。 ②カッタ刃が所定の位置に戻っていません。</p> <p>対策：①カッタ部の清掃をしてください。 ②[FEED] キーを押して、カッタ刃を所定の位置に戻してください。それでも表示されているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
17	 <p>BCCが一致していません</p>	<p>BCC チェックエラーの画面です。</p> <p>原因：①送信データ (1 アイテム分) に付加された BCC が異なっています。</p> <p>対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
18	 <p>アイテム番号が異なります</p>	<p>アイテム No エラーの画面です。</p> <p>原因：①印字データ (1 アイテム分) のシーケンス番号が前に印字したデータのシーケンス番号と合っていません。</p> <p>対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
20	 <p>装着されているヘッドが違います</p>	<p>ヘッド密度エラーの画面です。</p> <p>原因：①非対応のヘッドが装着されています。</p> <p>対策：①販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：出力しない</p>
21	 <p>不正な漢字データを読み込みました</p>	<p>漢字メモリエラーの画面です。</p> <p>原因：①メモリより不正なデータが読み込まれました。</p> <p>対策：①販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
25	 <p>印字飛びエラー</p>	<p>印字飛びエラーの画面です。</p> <p>原因：①印字飛びチェック設定を有効にし、指定した縦方向の用紙サイズより大きな値の印字データが指定されました。</p> <p>対策：①用紙サイズ、または印字データを確認してください。</p> <p>警告音：短音 3 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
26	 <p>オーバーヒートエラーです 少々お待ち下さい</p>	<p>オーバーヒートエラーの画面です。</p> <p>原因：①プリンタ内の温度が許容範囲を超えました。</p> <p>対策：①一定時間放置し、プリンタ内の温度を下げてください。温度が下がるとエラーが解消され、自動で復帰します。</p> <p>警告音：長音 1 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
27	 <p>データが不正です Caaa:<bb>:cc</p>	<p>コマンドエラーの画面です。</p> <p>原因：①印字データ中に不正なコマンドまたはパラメータを検出しました。 Caaa：エラー発生位置、<bb>：エラーコマンド名、cc：エラー種別コード</p> <p>対策：①印字データを確認します。送信した SBPL コマンドを確認してください。エラー解除できないときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：なし</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>
35	 <p>CRCが 一致していません</p>	<p>CRC チェックエラーの画面です。</p> <p>原因：①送信データ(1 アイテム分)に付加された CRC が異なっています。</p> <p>対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。</p> <p>警告音：短音 3 回</p> <p>外部信号：マシンエラー</p>

【警告表示】

警告番号	エラーメッセージ画面	説明
1	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>リボンニアエンドの画面です。</p> <p>原因：①プリンタにセットされているカーボンリボンの残量が少なくなりました。</p> <p>対策：①カーボンリボンを交換してください。</p> <p>警告音：なし</p> <p>外部信号：リボンニアエンド</p>
2	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>受信バッファニアフルの画面です。</p> <p>原因：①受信バッファの空き容量が少なくなりました。</p> <p>対策：①受信済みデータの解析が終了するまで、上位機器からデータを送信しないでください。</p> <p>警告音：なし</p> <p>外部信号：出力しない</p>
3	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>コマンドエラーの画面です。</p> <p>原因：①コマンドエラーを検出しました。</p> <p>対策：①印字データを見直してください。</p> <p>警告音：短音 1 回</p> <p>外部信号：出力しない</p>
4	 <p>オンライン QTY:000000</p>	<p>ヘッドエラーの画面です。</p> <p>原因：①ヘッドチェック検出方法を“通常”に設定した状態でヘッド断線を検出し、ヘッドチェック検出方法を“バーコード”に切替えて印字発行を継続しています。</p> <p>対策：①サーマルヘッドを交換してください。</p> <p>警告音：なし</p> <p>外部信号：出力しない</p>

▲あれ？ STATUS LED が…

STATUS LED が点滅または警告アイコンを表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○ STATUS LED が緑で点滅

メッセージの意味

要 因：受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。

対応方法：このまま使用しても構いません。

プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

▲あれ？ LABEL LED が…

○ LABEL LED が赤で点滅

メッセージの意味

要 因：用紙がありません。または、用紙が正しくセットされていません。

対応方法：用紙を正しくセットしてください。

▲あれ？ RIBBON LED が…

RIBBON LED が点滅または警告アイコンを表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○ RIBBON LED が赤で点滅

メッセージの意味

要 因：リボンが残り少なくなっています。

対応方法：このまま使用しても構いません。

印字途中でエラー 09 リボンエンドが表示された場合はカーボンリボンを交換してください。

▲あれ？ ブザー音が…

コマンド記述の誤りまたは印字領域指定が誤っています。

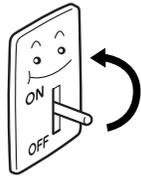
対応方法：プログラムを見直してください。

▲こんなときは

本プリンタの操作をしてもうまくいかなかったときは、次のことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない



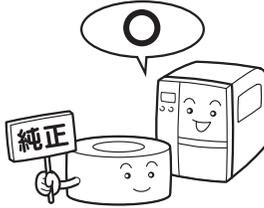
	【確認してください】	【直し方】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本プリンタに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードが傷んでいませんか？	電源コードを取替えてください。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店・ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。 もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
5	建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカーが落ちたりしていませんか？	建物の電源ヒューズを取替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

あれ？どうしたのかな

⚠ 注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

紙送りはするけれど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	<p>サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？</p>	<p>サーマルヘッドが汚れていたら、付属のクリーニングペンで汚れを拭き取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*で拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。→ 102 ページ</p> 
2	<p>本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？</p> 	<p>サトー製プリンタには、サトーのサプライ「純正」のご使用をお願いします。</p> 
3	<p>用紙センサが汚れていませんか？</p>	<p>用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。→ 102 ページ</p>
4	<p>カーボンリボンが正しく巻き取られていますか？</p>	<p>リボン巻取り部のノブが元の位置にセットされていないかったら、1度巻きつけたカーボンリボンを取り除き、ノブを元の位置に戻してセットしてください。</p>
5	<p>コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？</p>	<p>電源を入れ直してください。それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。</p>

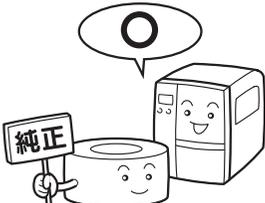
* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードを電源コンセントから抜いておこなってください。

きれいに印字しない



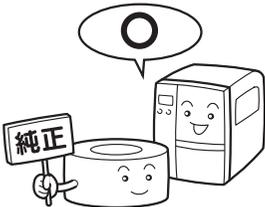
	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正しくセットされているか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。→ 102 ページ
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、付属のクリーニングペンで汚れを拭き取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*で拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。→ 102 ページ
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本プリンタ用のサトー製品用の紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	サトー製プリンタには、サトーのサプライ「純正」のご使用をお願いします。 

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードを電源コンセントから抜いておこなってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンを正しくセットし直してください。
2	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。→ 102 ページ
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていますか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、サトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。
		
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。→ 102 ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正または、基点補正（プリンタ設定）の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正または、基点補正（プリンタ設定）の内容を設定し直してください。

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードを電源コンセントから抜いておこなってください。

12 オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお応えできるように、次のオプションを用意しております。

オプションの種類

▲ カッタ仕様（工場オプション）

用紙をカットするカッタユニットをプリンタに取り付けたタイプです。
34 ページをご覧ください。

▲ ハクリ仕様（工場オプション）

プリンタにラベルと台紙をはがす、ハクリユニットを取り付けたタイプです。
31 ページをご覧ください。

▲ 簡易スタッカ STM600

発行したラベルをスタックします。

▲ 外部巻取装置 RWG500

発行したラベルを巻き取ります。
用紙幅が 131mm 以上の場合は、6 インチ拡張キットが必要です。

▲ リボンボスキット

リボン支管を使用して、リボンを巻取るキットです。
取り付けは、カスタマーエンジニアによる設置が必要です。
販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

▲ 外部発行ボタン

用紙を発行するためのスイッチです。
101 ページをご覧ください

▲ SD カード

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶することができます。
はじめて SD カードを使用する場合は、初期化してください。初期化については、メモリカードモード（71 ページ）をご覧ください。

▲ USB メモリ

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶することができます。
はじめて USB メモリを使用する場合は、初期化してください。初期化については、メモリカードモード（71 ページ）をご覧ください。

USB メモリのライフサイクルが短いため、推奨品はありません。32GB までの市販品をご使用ください。

ただし、以下の USB メモリは使用できません。

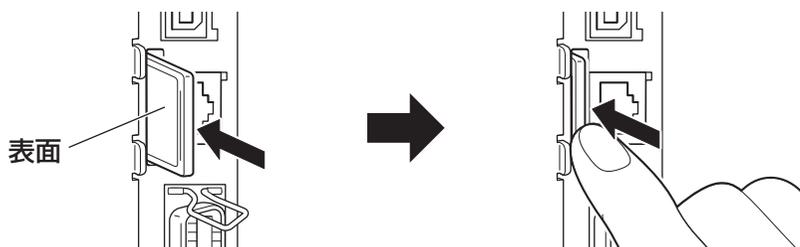
- ・ 指紋認証などのセキュリティ機能が付いた USB メモリ
- ・ コネクタ部分にシエルがない USB メモリ

なお、USB HUB を経由した接続には対応しておりません。

SD カードの取り付け・取り外し方

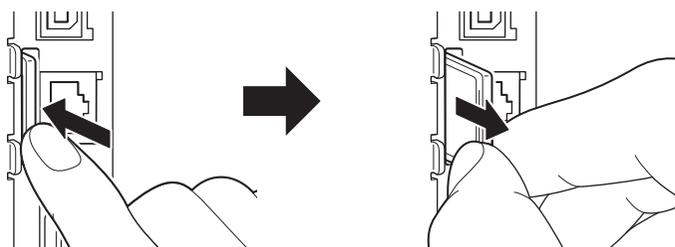
SD カードの取り付け方

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②プリンタ背面の SD カードコネクタに上下、挿入方向を確認し、SD カードを奥まで差し込みます。



SD カードの取り外し方

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②プリンタ背面の SD カードコネクタに挿入されている SD カードを奥まで押し、指を離すと SD カードが少しでますので、SD カードを取り出します。



⚠ 注意

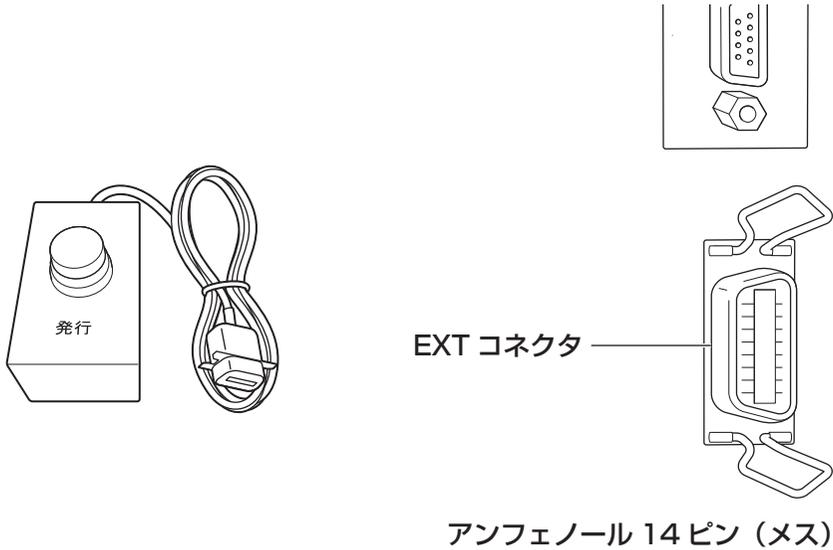
- SD カードの取り付け、取り外しをおこなうときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。SD カードや基板、プリンタ本体を破損するおそれがあります。
- SD カードは、サトー純正品のご使用をお願いします。

外部発行ボタンの接続

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②プリンタ背面の EXT コネクタに外部発行ボタン装置のケーブルを接続してください。

外部信号の設定は、78 ページをご覧ください。

詳細は、付属のアクセサリ CD-ROM の SBPL プログラミングガイドをご覧ください。



13 毎日のお手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、クリーニングセット*、ラッピングシート*を使って定期的に清掃してください。

警告

◆感電防止

- サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、必ず電源を切ってください。感電するおそれがあります。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次のとおりです。

クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*でのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラー、用紙センサ
…用紙 1 巻おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと
- その他（スライドガイド、フィードローラー、ラベルルート、リボンルートなど）
…用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

ラッピングシート*でのお手入れ

- 用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

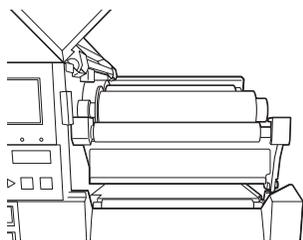
▲お手入れのときの注意

- 上記の清掃時期を目安に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*をご使用ください。
- ドライバなどの硬いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特に、サーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。
- 用紙・カーボンリボンを取り外してから清掃をおこなってください。

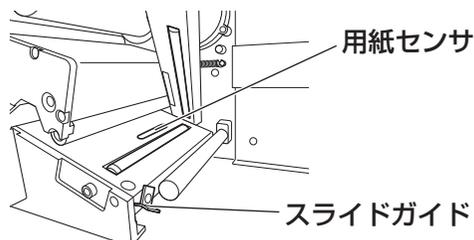
▲お手入れのしかた（1）

- クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*を使って、次の部分を清掃してください。

ヘッド部



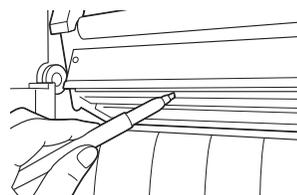
センサとガイド



* プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

①オープンカバーとヘッド部を開け、ラベル、カーボンリボンを取り外し、サーマルヘッドが見えるようにします。

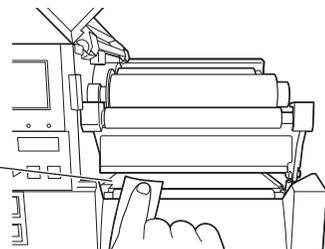
②クリーニングペンで、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。



③プリンタ清掃液を綿布に浸して、プラテンローラーの汚れを拭き取ります。

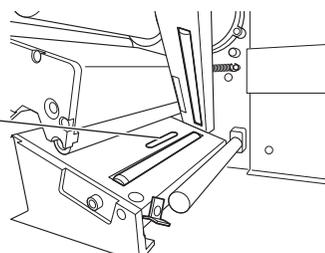
ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

プラテンローラー



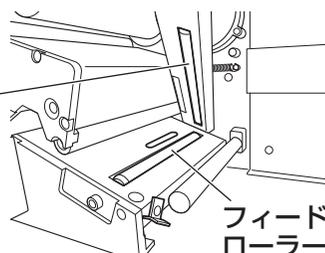
④ペーパーリッドを上にあげて、プリンタ清掃液を綿布に浸して、用紙センサの汚れを拭き取ります。

用紙センサ



⑤ペーパーリッドを上にあげて、プリンタ清掃液を綿布に浸して、フィードローラーと上部のニップローラーの汚れを拭き取ります。ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

ニップローラー



▲ お手入れのしかた (2)

- ・ラッピングシート*を使って次の部分を清掃してください。
ラッピングシート*は、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるように挟んでください。

①オープンカバーとヘッド部を開け、用紙・カーボンリボンを取り外し、サーマルヘッド部分が見えるようにします。

②ラッピングシート*をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、ヘッド部を閉じます。

③両手でラッピングシート*を手前に引きます。

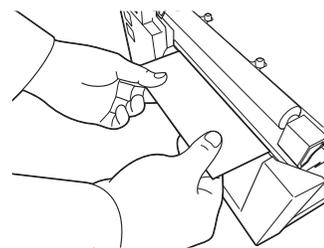
これを2～3回繰り返してください。

これでサーマルヘッドの付着カスが除去されます。まだ、カスが残っているときは、さらに数回繰り返してください。

④サーマルヘッドをクリーニングペンで清掃し、ヘッド面をきれいにしてください。

* ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

* ラッピングシートの使い方は、ラッピングシート*に添付しています「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。



14 基本仕様

モデル名	スキャントロニクス SG608R	スキャントロニクス SG612R
印字方式	感熱方式／熱転写方式 兼用	
ヘッド密度（解像度）	8dot/mm (203dpi)	12dot/mm (305dpi)
印字有効エリア	長さ 1249mm × 幅 167.5mm	
印字速度	50～250mm/秒 2～10インチ/秒 (ハクリ仕様：2～8インチ/秒)	50～200mm/秒 2～8インチ/秒
	ただし、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	長さ方向 上：1.5mm以下、下：1.5mm以下（台紙含まず） 幅方向 左：1.5mm以下、右：1.5mm以下（台紙含まず）	
用紙種類／用紙形態	サトー製品の用紙“純正”のご使用をお願いします。/ロール紙、ファンフォールド紙	
用紙厚	80～268 μm (0.08～0.268mm)	
用紙サイズ	標準 長さ 16～1249mm (19～1252mm) 幅 47～177mm (50～180mm)	
	ティアオフ 長さ 16～1249mm (19～1252mm) 幅 47～177mm (50～180mm) カット 長さ 32～397mm (35～400mm) 幅 47～177mm (50～180mm) ハクリ 長さ 22～110mm (25～113mm) 幅 47～177mm (50～180mm) ※（ ）は台紙サイズ ※ 発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。	
用紙外形／支管サイズ	ロール紙 用紙外形：最大 203mm (8インチ) 支管内径：76mm (3インチ)、101mm (4インチ) ファンフォールド紙 最大積み高さ：100mm (プリンタと用紙を同じ高さの台に設置した場合)	
リボン種類	サトー製品のカーボンリボン“純正”のご使用をお願いします。	
リボンサイズ／リボン形態／リボン巻方向	リボン長：最大 300m リボン幅：最大 177mm 巻き方向：裏巻き 巻取り方式：支管レス	
発行モード	連続、ティアオフ、ピッチセンサ無効、カット、ハクリ	

モデル名	スキャントロニクス SG608R	スキャントロニクス SG612R
寸法/重量	幅 352mm × 奥行き 435mm × 高さ 298mm / 約 20kg	
電源仕様	入力電圧：AC100V ~ 240V ± 10% 消費電力：ピーク時 280VA/270W (印字率 30%) 待機時 27VA/23W	
環境条件	使用温度：5 ~ 40℃ 湿度：30 ~ 80%RH (ただし、結露無きこと) 保存温度：- 5 ~ 60℃ 湿度：30 ~ 90%RH (ただし、結露無きこと)	
インタフェース	①USB インタフェース ②RS-232C インタフェース ③IEEE1284 インタフェース ④LAN インタフェース ⑤Bluetooth インタフェース ⑥EXT インタフェース (アンフェノール 14 ピン) ⑦SD カードスロット ⑧ USB スロット (タイプ A)	
オプション	①カッタ仕様 (工場オプション) ②ハクリ仕様 (工場オプション) ③簡易スタッカ (STM600) ④外部巻取装置 (RWG500)* ⑤リボンボスキット ⑥ SD カード ⑦外部発行ボタン *用紙幅が 134mm 以上の場合は、6 インチ拡張キットが必要です。	
操作	LCD：グラフィック LCD (横 128dot × 縦 64dot) バックライト付き LED：POWER (緑/橙)、ON LINE (緑)、STATUS (緑/赤)、 LABEL (赤)、RIBBON (赤) キー：LINE、FEED、↑、↓、←、→、ENTER、CANCEL、FUNCTION	
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整、停止位置調整、ブザー音量調整	
用紙長検出センサ	アイマークセンサ (反射タイプ)、ギャップセンサ (透過タイプ)	
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128 (UCC/EAN128)、CODABAR (NW-7)、ITF、 インダストリアル 2of5、 マトリックス 2of5、カスタマバーコード、UPC アドオンコード、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、 GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked ※ GS1 DataBar は RSS のことです。	

モデル名		スキャントロニクス SG608R	スキャントロニクス SG612R
2次元コード		QRコード、マイクロQR、セキュリティQR、PDF417、マイクロPDF、MAXIコード、データマトリックス (ECC200)、GS1 データマトリックス (ECC200)	
合成シンボル		EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、UPC-A Composite、UPC-E Composite、 GS1 DataBar Composite、GS1 DataBar Truncated Composite、GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、GS1-128 Composite ※ GS1 DataBar は RSS のことです。 ※ GS1-128 は UCC/EAN128 のことです。	
標準搭載 フォント	ビット マップ フォント	X20 文字 5 × 9dot (英数字、記号、カナ)	
		X21 文字 17 × 17dot (英数字、記号、カナ)	
		X22 文字 24 × 24dot (英数字、記号、カナ)	
			X23 文字 48 × 48dot (英数字、記号、カナ)
		X24 文字 48 × 48dot (英数字、記号、カナ)	
		OCR-A 15 × 22dot (英数字、記号)	OCR-A 22 × 33dot (英数字、記号)
		OCR-B 20 × 24dot (英数字、記号)	OCR-B 30 × 36dot (英数字、記号)
		漢字 16 × 16dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 22 × 22dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 24 × 24dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 32 × 32dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 40 × 40dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) ※ 日本語 (JIS × 0208 準拠、JIS × 0213 準拠切替え)	
	ラスタ ライザ フォント	CG Times (英数字、記号)、CG Triumvirate (英数字、記号)	
	アウト ライン フォント	漢字、英数字、記号、カナ	
印字方向 (文字・バーコード)		文字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル 1 (0°)、パラレル 2 (180°)、 シリアル 1 (90°)、シリアル 2 (270°)	
バーコード比率		1：2、1：3、2：5、任意指定可能	
拡大倍率 (文字・バーコード)		文字：縦 1～12 倍、横 1～12 倍 バーコード：2～12 倍	

モデル名	スキャントロニクス SG608R	スキャントロニクス SG612R
搭載機能	①ステータス返送機能、②グラフィック機能、③連番機能、 ④フォームオーバーレイ機能（電源断消去）、⑤外字登録機能、 ⑥文字補正機能、⑦白黒反転機能、⑧罫線機能、⑨ダンプリスト機能、 ⑩フォーマット登録機能、⑪アウトライン変形機能、⑫ゼロスラッシュ切替機能、 ⑬ JIS/ シフト JIS/Unicode 切替機能	
自己診断機能	①ヘッド切れチェック ②ヘッドオープン検出 ③ペーパーエンド検出 ④リボンエンド検出 ⑤リボンニアエンド検出 ⑥テスト印字 ⑦漢字データチェック ⑧カッタエラー	
ノイズ（EMC）規格	VCCI Class B	

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- SD ロゴは商標です。

15 アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。

保守サポート業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から5年間です。

(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <http://www.sato.co.jp> でご確認ください。)

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	SENDバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。

サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社のサプライ品“純正”での走行距離50km(カッタ50万回)または納入から6か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態でご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応

全国電話一本で、全国を網羅する37箇所のサポートセンターから弊社CEが素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼働、さらにシステム全体の安定稼働に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社のCEが直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

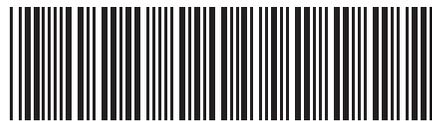
銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフトなど）は、壊れる場合があります（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）。

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。



Q03461000